



取扱説明書

株式会社
ミマキエンジニアリング

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品の使用によるメディア（ワーク）等の損失や、メディアを使用した作成物によって生じた間接的な損失等の責任も負担しないものとします。本装置を使用したことによる金銭上の損害、および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがございましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。



★ 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング

All Rights Reserved. Copyright ©2008 MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd.

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続において、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本製品は、使用時に高周波が発生します。

不適切な条件下での、本装置の設置または使用は、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。

本製品がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本製品の電源を切ってください。電源を切り受信障害が解消されれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- 本製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- 本製品とは別の電源供給路にあるコンセントに、テレビやラジオを接続してください。

はじめに

このたびは、Tシャツ用インクジェットプリンター「GP-604」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

「GP-604」は、専用捺染顔料インクを使用し、Tシャツに直接プリントできます。また、フラッドベットタイプなので、Tシャツ以外のメディアにもプリントできます。

本書をよくお読みになり、本装置を安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。

取扱説明書について

- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置を使用する担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が紛失／破損などにより読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

本装置のご紹介

本装置の主な特長は次の通りです。

捺染顔料インクを使用できます

新開発の捺染顔料インクを使用し、Tシャツにダイレクトにプリントできます。メディアの前処理を不要とし、熱処理（簡易後処理）を行います。人の肌にも優しく、通気性・吸水性を損なうことなく、ソフトに仕上がります。

4ヘッド、4色ダブルインクカートリッジ搭載

4色のインクが各2本ずつセットできるダブルカートリッジにより、高速かつ高画質にプリントできます。

※ 2way 機能を使用していない場合のみ

簡単インク交換

インクのカートリッジ化により、手を汚さずに、安全かつ簡単にインクが交換できます。

インク残量を表示

使用中のインクの残量を表示して確認できます。無駄なくインクやメディアを使用できます。

プリントヒーター搭載

周囲の温度を検知して温度を制御するため、使用するメディアに最適な加熱温度を設定します。インクの裏抜け防止、発色効果をアップします。

見やすいディスプレイ

プリンターの設定メニューを表示する「ディスプレイ」が見やすい2行表示になりました。バックライトも付いて、暗い場所での表示認識が可能です。英語・スペイン語など7ヶ国の表示ができます。

高速インターフェースが使用できます

高速インターフェース「IEEE1394」を使用し、コンピュータからのデータを高速で受信します。

2way 機能を使用できます

TPインクとSb51インクをセットしておき使用するインクを選択することで、インクカートリッジの交換なしで作図できます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マークを使用して操作上の注意点を説明しています。
各マークの持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示例 1



警告

★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や中毒を起す可能性を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。



注意

★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



●「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。



● 関連した内容の参照ページを示しています。

マーク表示例 2



△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。△中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。



●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

インクに関する警告事項



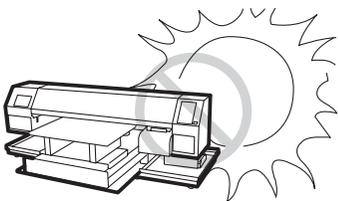
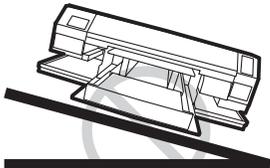
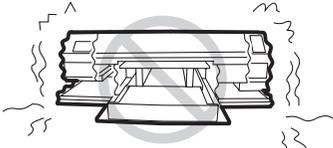
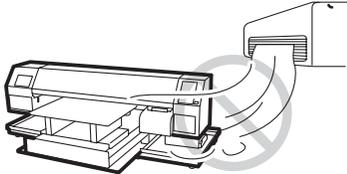
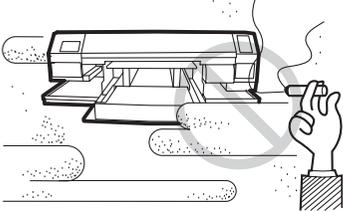
警 告

-  ★ 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込まないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
-  ★ 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動し、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
-  ★ 皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。コンタクトレンズは外して洗眼してください。すぐに医師の診察を受けてください。
-  ★ 専用のインクカートリッジをお使いください。
-  ★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
-  ★ インクカートリッジのインクは、詰め替えないでください。インクを詰め替えて使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
-  ★ インクカートリッジは、分解しないでください。感電や故障の原因になります。
-  ★ 廃インクは、地域の条例にしたがって処分してください。

その他の警告事項

 警 告	
<p>分解・改造はしない</p> <p> ★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。</p>	<p>ヒーター部分について</p> <p> ★ テーブル上のヒーター部分に、ホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。</p>
<p>湿気が多い場所では使用しない</p> <p> ★ 湿気が多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。</p>	<p>電源・電圧について</p> <p> ★ 表示してある電源仕様で使用してください。使用する電源電圧にあわせて、電圧セレクタを切り替えてください。☞ P.1-7</p> <p style="text-align: center;">  </p> <p style="text-align: center;"> 110 V位置→本装置 100～120 V 220 V位置→本装置 220～240V </p> <p>また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したコンセントに差し込んでください。 火災・感電の原因になります。</p>
<p>異常事態の発生</p> <p> ★ 万一、煙が出ている、変な臭いが出るなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチをオフにし、必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険です。絶対におやめください。</p>	<p>電源ケーブルの取り扱い</p> <p> ★ 付属の電源ケーブルを使用してください。</p> <p>★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損/加工しないでください。 また、重い物をのせたり加熱したり、ひっぱると電源ケーブルが破損し、火災、感電の原因になります。</p>

設置場所の注意

 注 意	
直射日光が当たる場所	水平でない場所
 	 
温度や湿度の変化が激しい場所	振動が発生する場所
 次の環境下でお使いください。 使用環境 : 20 ~ 35 °C 35 ~ 65 % (Rh)	 
エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所
 	  

使用上のご注意

 注 意	
<p>専用インクをお使いください</p> <p> ★ GP-604 専用のインク以外は使用しないでください。専用インク以外のインクでは、装置保護のため動作しません。</p> <p> ★ GP-604 専用のインクは、他のプリンターで使用しないでください。プリンターが壊れます。</p>	<p>ホコリから守る</p> <p> ★ できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。☞ P.4-8</p> <p> ★ プリントしない時もフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。</p>
<p>定期交換部品があります</p> <p> ★ 本装置には、定期的に交換する部品があります。保守契約が必要となります。</p>	<p> ★ 帰宅時など長時間使用しない場合は、メディア（Tシャツ）をテーブルにセットしたままにしないでください。メディア（Tシャツ）の上にホコリが付着してしまいます。</p>
<p>装置の移動について</p> <p> ★ 本装置の移動は、段差のない同一フロア内とします。移設の際は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。</p>	<p> ★ メディア（Tシャツ）はホコリが付着しないように保存してください。</p> <p> ★ キャッピングステーション、およびワイパの拭き掃除（ホコリ、糸くず）は、毎日行ってください。ヘッドのホコリは、プリント中に突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちる原因になります。この場合は、ヘッドをクリーニングしてください。☞ P.2-7, 4-9</p>
<p>フロントカバーについて</p> <p> ★ プリント中にフロントカバーを開けないでください。プリントが終了してしまいます。</p>	
<p>メディアについて</p> <p> ★ カールのきついメディア、シワの多いメディアは、カールやシワを取り除いてから使用してください。カールやシワが多いと、画質に影響を及ぼします。</p>	

⚠ 注 意

インクカートリッジの使用について

-  ★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、室温環境下に3時間以上放置してから使用してください。
-  ★ カートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。
-  ★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。未開封状態で1年間の保存が可能です。
-  ★ カートリッジは、開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、画質が低下します。
-  ★ 専用インク以外は使用できません。
-  ★ カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。
-  ★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。
-  ★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

ヒーターに注意

-  ★ ヒーター部分に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
-  ★ ヒーターは60℃まで設定できます。熱いうちに素手で触らないでください。火傷の原因になります。
-  ★ 本装置を移動する際は、ヒーターの温度が十分に下がってから行ってください。目安として、ヒーターの電源のオフにしてから30分以上お待ちください。なお、本装置の移動は、段差のない同一フロア内とします。移設の際は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

警告ラベルについて

-  ★ 本装置には警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店、または弊社営業所にてお買い求めください。

目次

電波障害自主規制	ii
テレビ/ラジオの受信障害について	ii
はじめに	iii
取扱説明書について	iii
本装置のご紹介	iv
安全にお使いいただくために	v
マーク表示について	v
インクに関する警告事項	vi
その他の警告事項	vii
設置場所の注意	viii
使用上のご注意	ix
本書の読み方	xvi
ディスプレイとキーの表記	xvi
本書の構成	xvii

1章 各部の名称とはたらき

装置前面	1-2
装置背面	1-3
左背面	1-3
右背面	1-3
操作パネル	1-4
キャリッジ	1-5
キャッピングステーション	1-5
ヒーターについて	1-6
ヒーター電圧を設定する	1-7
インクステーション	1-8
モードについて	1-9

2章 作業の流れ

プリントの流れ	2-2
電源をオンにする	2-3
フロントカバーについて	2-4
フロントカバーの開閉について	2-4
ヒーターの温度を設定する	2-5

ノズル詰まりを確認／解消する	2-6
テストパターンをプリントする	2-6
異常なパターンの場合は	2-7
メディア (T シャツ) をセットする	2-8
T シャツプレートを使用する場合は	2-9
メディア(T シャツ)の厚みを読みとる	2-10
画像データをプリントする	2-11
プリントする	2-11
プリントを中止する	2-12
プレスする	2-13
[プリント/インク]を表示したら	2-14
電源をオフにする	2-16

3章 日常のお手入れ

日常のお手入れ	3-2
お手入れ上のご注意	3-2
本体の外装が汚れた場合は	3-3
ワイパとキャップのクリーニング	3-4
廃インクが溜まったら	3-6

4章 設定機能について

メニューの基本操作	4-2
作図条件をまとめてを登録する (タイプ登録)	4-4
タイプを登録する	4-4
タイプを変更する	4-4
設定機能について	4-5
設定機能一覧	4-5
プリント範囲を指定する	4-10
プリント範囲を指定する	4-11
使用するインクの種類を設定する[インクタイプ]	4-14
原点を設定する	4-15
ヘッドの高さを変更する[ヘッドキャップ]	4-16
メディア (T シャツ) の送り量を補正する[フィード量]	4-18
ディスプレイの表示言語を変更する	4-20

5章 メンテナンス機能

メンテナンスについて	5-2
メンテナンス機能の導入	5-2
設定機能一覧	5-3
ステーション内の清掃[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト]	5-4
ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパコウカン]	5-5
ノズルの洗浄[ノズルセンジョウ]	5-7
インク排出路の洗浄について[ヘッドセンジョウ]	5-9
長期間使用しない場合[ヘッドセンジョウ]	5-11
双方向作図時の調整について[トットイチセイ]	5-14
ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合	5-16
インクを充填する[インクジュウテン]	5-16
専用洗浄液で洗浄する[ヘッドセンジョウ]	5-16
設定条件を印刷する[リスト]	5-18
HEX コードで印刷する[タータツフ]	5-19
ワイパ寿命の警告表示[ワイパレベル]	5-20
異なる種類のインクを装填する[インクコウカン]	5-21
2種類のインクを同時に充填する(2way 機能)	5-23
時刻を設定する[ジコクセテイ]	5-24
本装置の情報を表示する[マシンジョウホウ]	5-25

6章 困ったときは

故障？と思う前に	6-2
画質不良が発生した場合は	6-4
カートリッジ異常が発生したら	6-5
メッセージを表示するトラブル	6-6
ワーニングエラー	6-6
エラーメッセージ	6-8

付録

本体仕様	付録-2
インク仕様.....	付録-4
設置場所について	付録-5
警告ラベルについて	付録-6
お問い合わせシート	付録-7
機能フローチャート	付録-9

索引

本書の読み方

ディスプレイとキーの表記

本取扱説明書では、操作手順と合わせて、操作パネルの「ディスプレイ」に表示する文字や、使用するキーを説明しています。  P.1-4

ディスプレイ表記

四角い枠の中に、表示する内容を文字表記します。操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めてください。

ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[タイプ1],[シバラク オマチクダサイ]のように[]で説明しています。

FUNCTION
セッテイ <ENT>

セッテイ
センタク :タイプ°

操作キー

本文中では、操作キーを【カッコ】で説明しています。

【▲】【▼】はジョグキーを意味します。
その他の操作キーは、【FUNCTION】のように操作キーの名称を【 】の中に表記します。

 P.1-4

本書の構成

本書は、6つの章に分けて本装置の取扱いについて説明しています。

<p>はじめに</p> <p>本装置を使用する前に、理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。</p>	<p>はじめに</p>
<p>1章 各部の名称とはたらき</p> <p>本装置の各部の名称とはたらきについて説明します。</p>	<p>1</p>
<p>2章 作業の流れ</p> <p>電源のオンからプリント終了までの一連の動作、設定について説明します。</p>	<p>2</p>
<p>3章 日常のお手入れ</p> <p>廢インクタンクの交換方法や、各部の清掃方法について説明します。</p>	<p>3</p>
<p>4章 設定機能について</p> <p>設定機能について説明します。</p>	<p>4</p>
<p>5章 メンテナンス機能</p> <p>メンテナンス機能、ワイパの交換方法などについて説明します。</p>	<p>5</p>
<p>6章 困ったときは</p> <p>本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブルの解消方法について説明します。</p>	<p>6</p>
<p>付録</p> <p>本装置の仕様、お問い合わせシート、機能フローチャートをのせています。</p>	<p>付録</p>

1 章

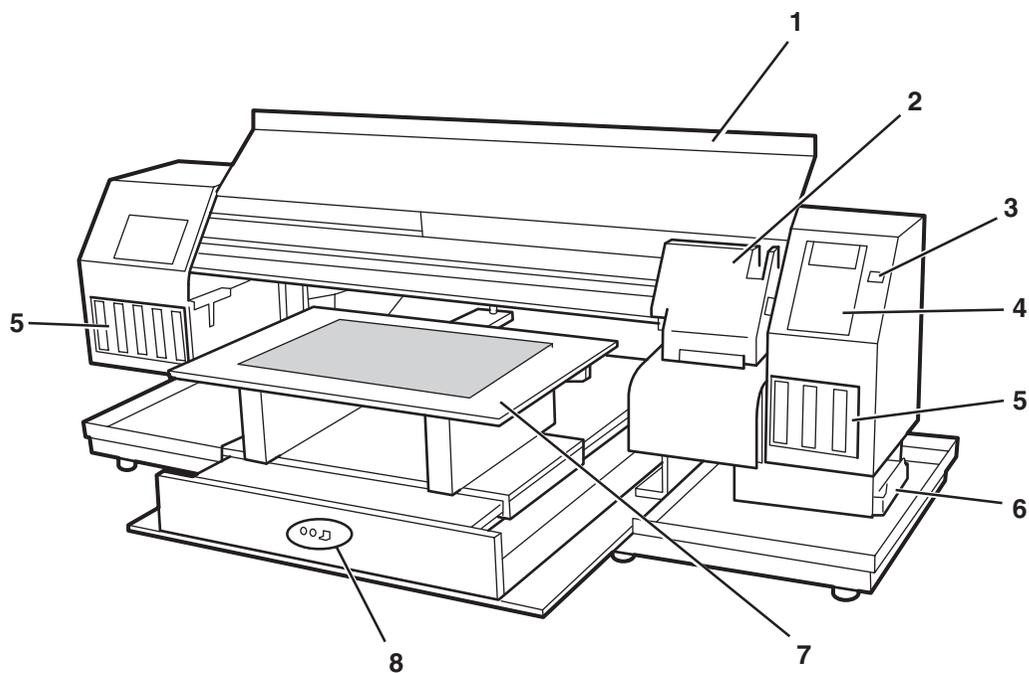
各部の名称とはたらき

本装置の各部の名称とはたらきについて説明します。

本章の内容

装置前面	1-2
装置背面	1-3
操作パネル	1-4
キャリッジ	1-5
ヒーターについて	1-6
インクステーション	1-8
モードについて	1-9

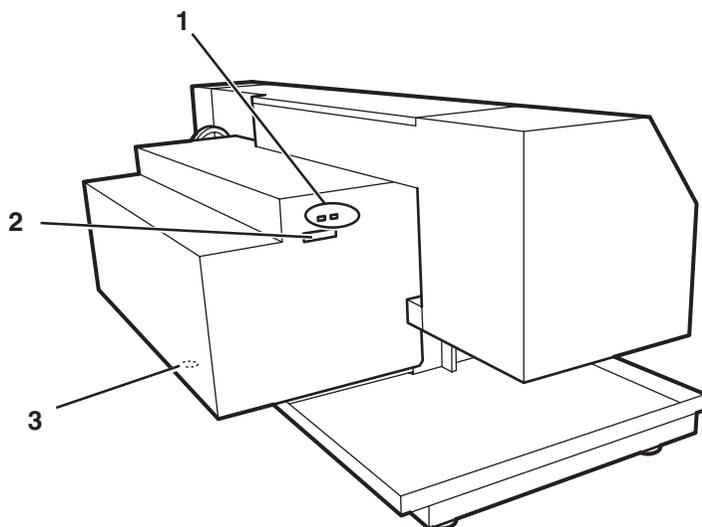
装置前面



	名称	はたらき
1	フロントカバー	ステーション部分をホコリから守ります。メンテナンスの際、カバーを開けます。
2	キャリッジ	プリントヘッドがあり、左右に移動します。
3	電源スイッチ	電源をオン/オフします。 オンにすると、操作パネルのPOWERランプが緑色に点灯します。
4	操作パネル	各機能の設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。☞ P.14
5	インクステーション	専用のインクカートリッジをセットします。☞ P.18
6	廃インクタンク	クリーニングなどに使用したインクが溜まります。☞ P.3-6
7	テーブル	メディア (Tシャツ) をセットし、プリントします。ヒーターを内蔵しているため、高温になります。
8	ヒーター用電源スイッチ	ヒーターの電源をオン/オフします。☞ P.1-6

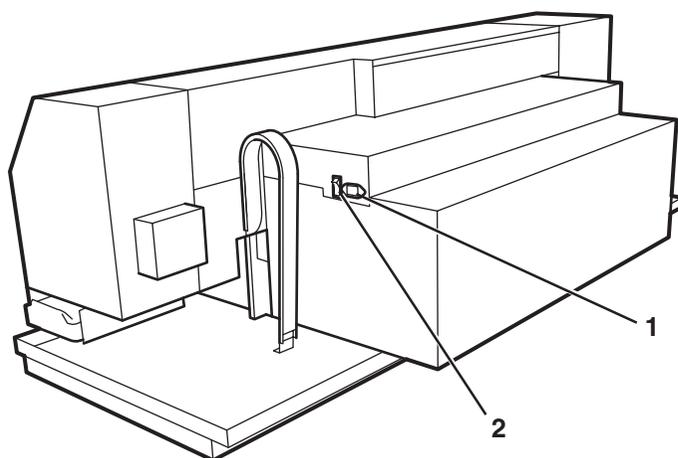
装置背面

左背面



	名称	はたらき
1	IEEE1394 コネクタ	IEEE1394 準拠のコネクタを接続します。
2	IEEE1284 コネクタ	本装置では使用しません。
3	電圧セレクトスイッチ	使用する電源電圧に合わせて、ヒーターの電圧を設定します。☞ P.17

右背面



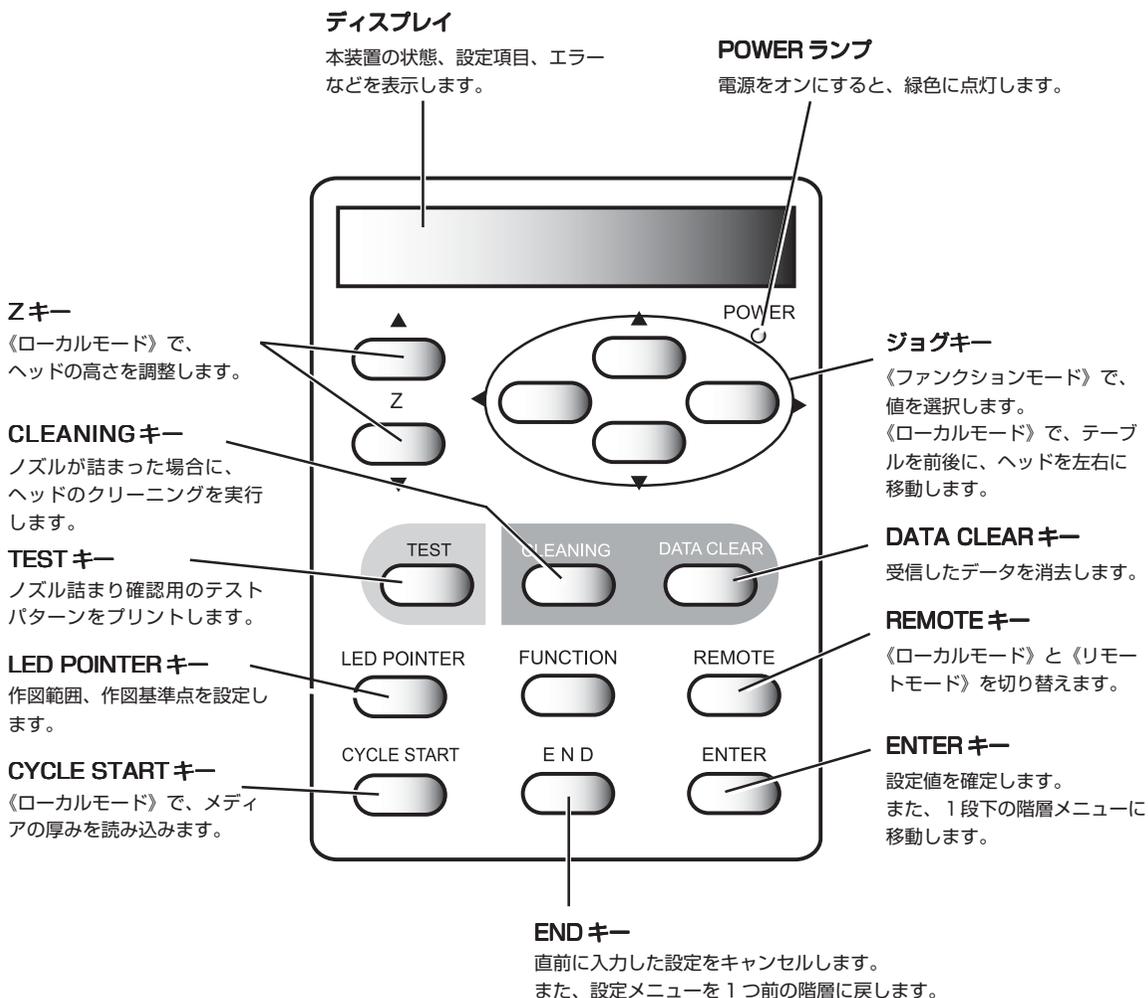
	名称	はたらき
1	AC インレット	電源ケーブルを接続します。
2	主電源スイッチ	通常はオンにしておきます。長い間使用しない場合や、移動する場合はオフにします。

1

各部の名称とはたらき

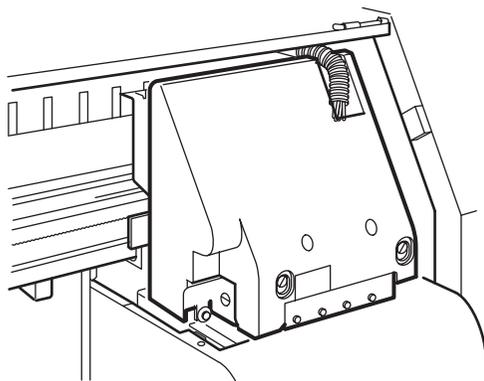
操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。



キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドが付いています。
また、メディア（Tシャツ）の厚みを読み取るセンサー、プリント開始位置を決めるLEDポインタが付いています。



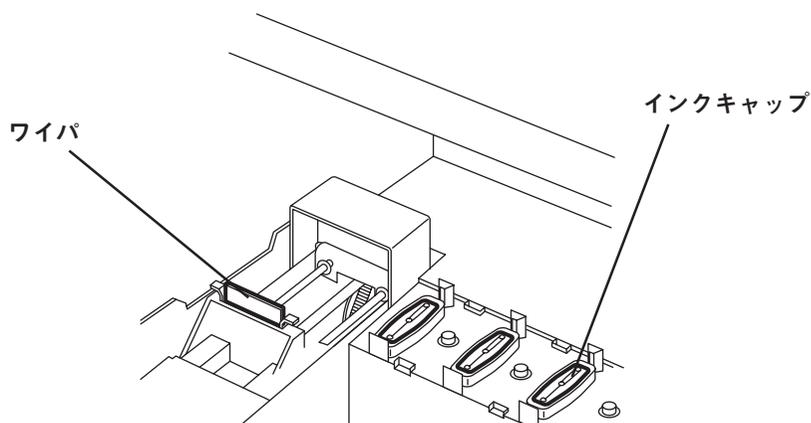
キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成しています。

インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。

ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。

ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディア（Tシャツ）が汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。☞ P.5-5



1

各部の名称とはたらき

ヒーターについて

本装置は、テーブル上にヒーターを内蔵しています。

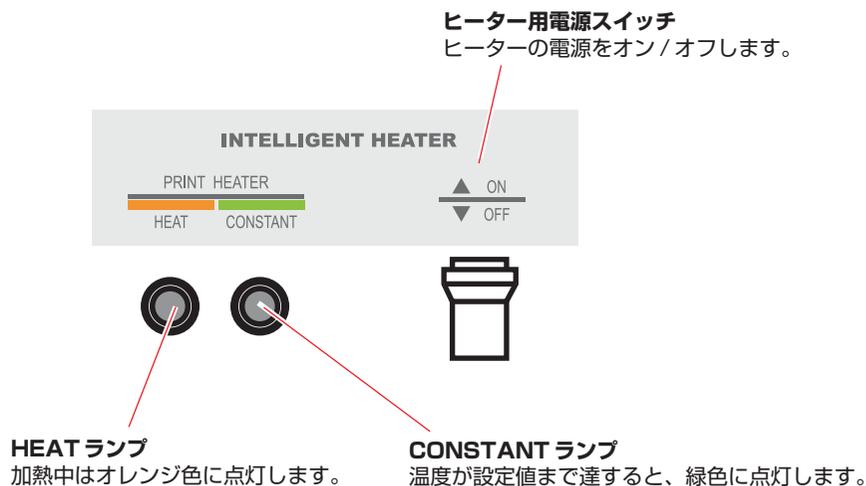
ヒーターで適度な熱をあたえると、メディア（Tシャツ）の裏側にインクが抜けるのを防止し、さらに発色効果を高めます。

ヒーターの状態を2つのLEDランプで表示します。

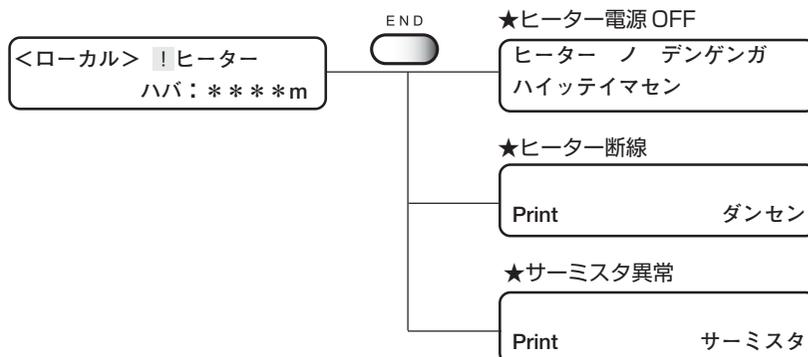
本装置の電源をオフにすると、ヒーターの電源もオフになります。



★ ヒーターの電源をオンにすると、ヒーター部分が熱くなります。ご注意ください。



- **CONSTANT** ランプ点灯中に **HEAT** ランプが消灯することがあります。この時、ヒーターの温度が設定温度に達し、加熱を中断しています。異常ではありません。
- ヒーターに異常が発生すると、ディスプレイに [!ヒーター] と表示します。[END] キーを押すと、エラーの詳細を表示します。☞ P.6-7



ヒーター電圧を設定する

本装置を使用する電源電圧に合わせて、ヒーターの電圧を設定します。

工場出荷時は、安全のため 220V に設定しています。110V で使用する場合は、本装置背面の電圧セレクタを切り替えます。



注意

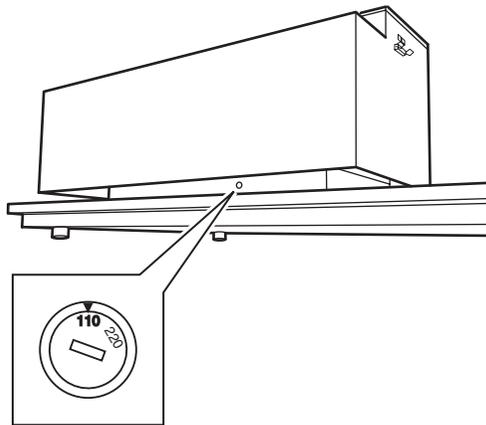
★ 電圧セレクタを 110 V の設定で本装置を 200 ~ 240 V の電源に接続した場合、本装置が破損する原因になります。

★ 電圧セレクタを 220 V の設定で本装置を 100 ~ 120 V の電源に接続した場合、ヒーターの温度が設定した温度まで上がりません。

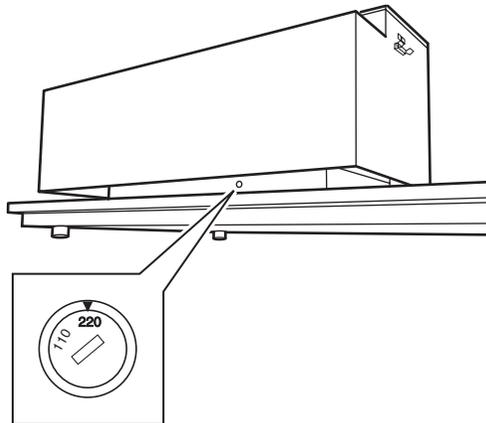


● 電圧セレクタを切り替える場合は、マイナスドライバーを使用してください。

100 ~ 120 V に接続する場合



200 ~ 240 V に接続する場合



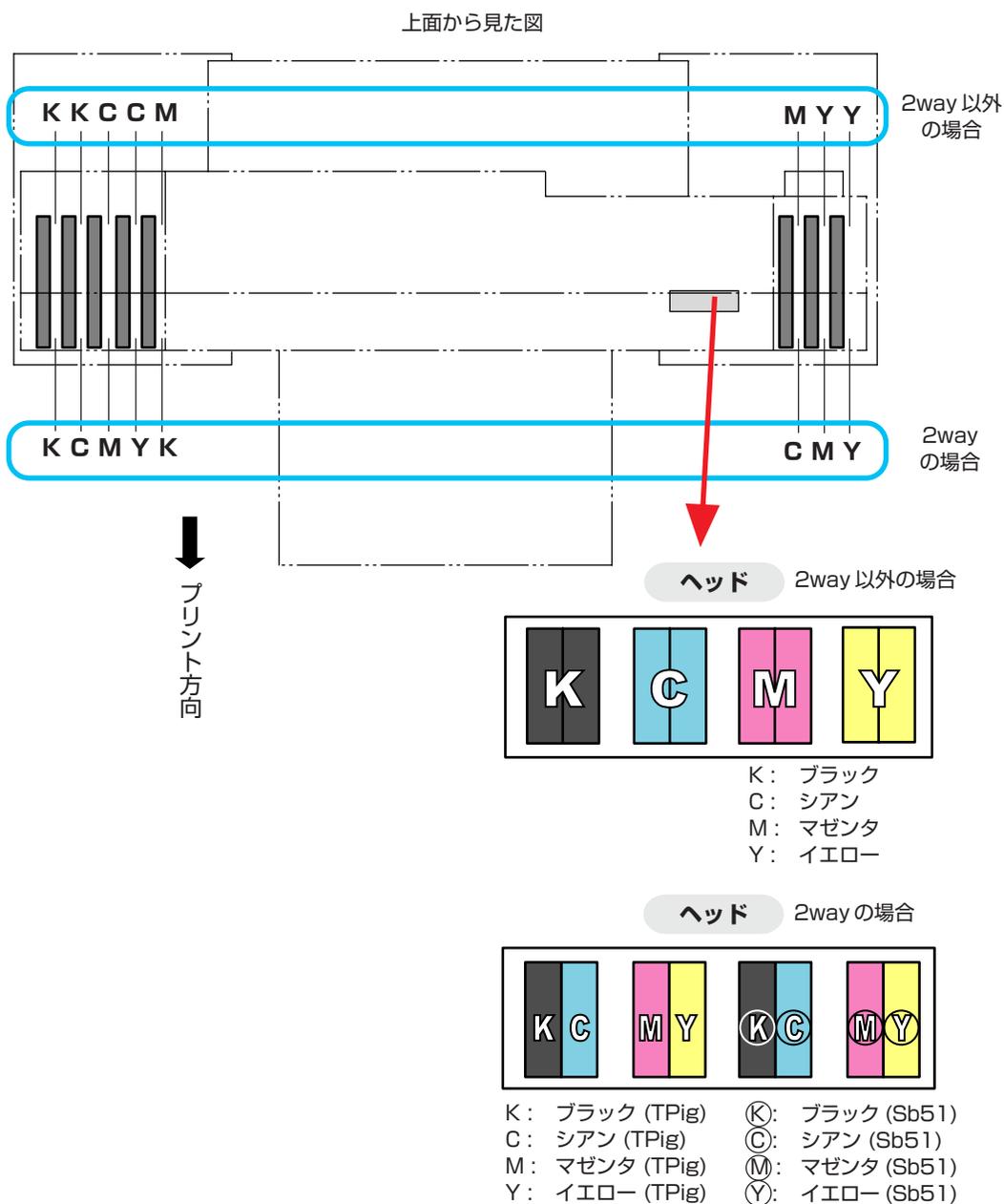
インクステーション

キャリッジには、4つのヘッドを搭載しています。

1つのヘッドには、2列のノズルを配置しています。1列のノズルに対して1色のインクが対応しています。

インクステーションには、それぞれ対応したカートリッジをセットします。

ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご注意ください。



モードについて

本装置には、次の3つのモードがあります。

ローカルモード

初期動作後のモードです。

全てのキーが有効です。

コンピュータからのデータを受信できます。ただし、プリントはできません。

ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. 【CYCLE START】キーを押します。 → メディアの厚さを読み込みます。
(読み込み後は、リモートモードになります。)
2. 【FUNCTION】キーを押します。 → 各種機能を設定します。
(ファンクションモードへ)
3. 【TEST】キーを押します。 → テストパターンを印刷します。
4. 【CLEANING】キーを押します。 → ヘッドをクリーニングします。
5. 【DATA CLEAR】キーを押します。 → 受信したデータを消去します。
6. 【LED POINTER】キーを押します。 → 作図範囲、作図基準点を指定します。
7. ジョグキーを押します。 → 原点を設定します。
8. Zキーを押します。 → ヘッドの高さを調整します。

ファンクションモード

ローカルモード時に【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードになります。
各ファンクション機能を設定します。

リモートモード

受信したデータをプリントします。

プリント中に【REMOTE】キーを押すと、一時停止します。

2章

作業の流れ

プリントするために必要な操作、基本的な設定について説明します。

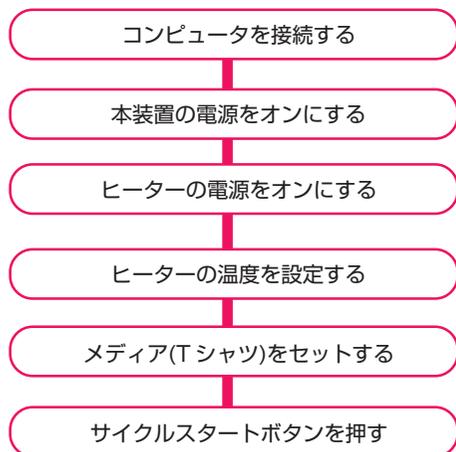
本章の内容

プリントの流れ	2-2
電源をオンにする	2-3
フロントカバーについて	2-4
ヒーターの温度を設定する	2-5
ノズル詰まりを確認／解消する	2-6
メディア (Tシャツ) をセットする	2-8
メディア(Tシャツ)の厚みを読みとる	2-10
画像データをプリントする	2-11
プレスする	2-13
[ニアント/イクエント]を表示したら	2-14
電源をオフにする	2-16

プリントの流れ

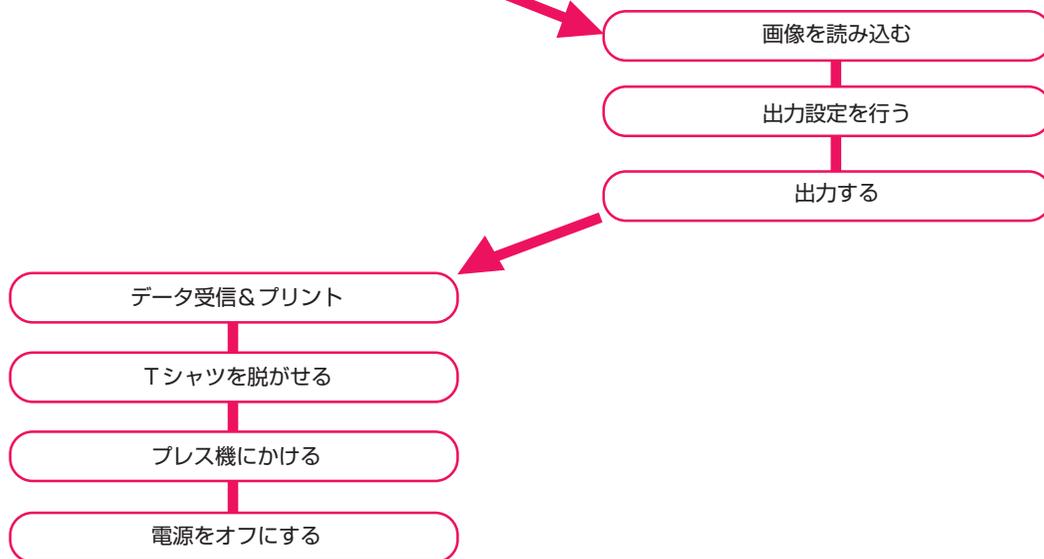
電源のオンからプリントが終了するまでの作業の流れを見てみましょう。

GP-604 での操作



RasterLinkTAIII での操作

「RasterLinkTAIII」は、本装置専用の出力ソフトウェアです。詳しくは「RasterLinkTAIII 取扱説明書」をご覧ください。



電源をオンにする

本装置には、3つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ : 本装置の背面にあります。通常はオンにしておきます。長い間使用しない場合や移動する際などは、オフにします。  P.1-3

電源スイッチ : 本装置の前面にあります。通常はこのスイッチを使用してください。  P.1-2

ヒーター用電源スイッチ : 本装置の前面（テーブルの下）にあります。  P.1-2,1-6

1. 本装置背面の主電源スイッチを押します。
2. 本装置前面の電源スイッチを押します。



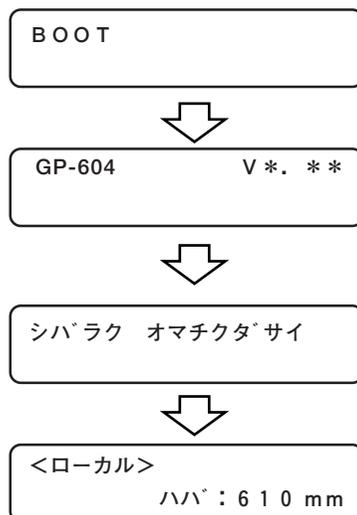
- ★ フロントカバーが閉じていることを確認してください。
フロントカバーが開いていると初期動作を行いません。
- ★ 電源をオンにすると、初期動作に入る前にブザーが鳴ります。機械が動作を開始しますので、ご注意ください。

[BOOT]を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

XYZ軸各方向の初期動作を実行します。
[シバラク オマチクダサイ]の表示が点滅します。

初期動作終了後、ローカルモードになります。

3. 接続してあるコンピュータの電源をオンにします。



フロントカバーについて

フロントカバーの開閉について



注意

- ★ プリント中にフロントカバーを開けないでください。プリント中にカバーを開けると、プリントが中断し、継続できなくなります。
- ★ フロントカバーは、取っ手を持って開閉してください。樹脂面を持って開閉すると破損の原因になります。

プリント中にフロントカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、本装置のプリント動作が止まります。

この場合、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

プリント中にフロントカバーを開けてしまったら

1. プリント中にフロントカバーを開けると、メッセージを表示します。
プリントを停止します。

カバーヲ シメテクダサイ

2. コンピュータからのデータ送信を停止します。

3. フロントカバーを閉めます。

(COVER OPEN)
<ENT>ヲ オシテクダサイ

4. 【ENTER】 キーを 1 回押します。

キャリッジが動き始めます。

本装置の電源をオンにした時と同じ初期動作を行います。 P.23

ENTER

シヨキカチュウ
シハラク オマチクダサイ

[データクリア]を実行する必要はありません。

データは自動的に削除されます。

ヒーターの温度を設定する

ヒーターの電源を入れる前に、メディア（Tシャツ）に適する温度に設定します。



- ★ ヒーターの加熱中は、テーブルが高温になります。火傷にご注意ください。
- ★ 本装置は、20～35℃の環境で使用してください。
周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。
- ★ 適温は、使用素材や環境により異なります。印字がはっきりと鮮やかに出るまで温度を上げてください。綿100%のメディアでは、50～60℃が目安となります。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

REMOTE	<ローカル>
[ON]	ハバ° : 610 mm
2. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION	FUNCTION
[ON]	セッテイ < ENT >
3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER	セッテイ
[ON]	センタク : タイプ 1
4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、タイプを選択します。☞ P.4-4

▲	セッテイ
[ON]	センタク : タイプ 3
▼	センタク : タイプ 3
5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER	タイプ 3
[ON]	フィードホセイ < ent >
6. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ヒーター]を選択します。

▲	タイプ 3
[ON]	ヒーター < ent >
▼	ヒーター < ent >
7. 【ENTER】キーを押します。
8. 【ENTER】キーを押します。

ENTER	タイプ 3
[ON]	プリントヒート < ent >
9. ジョグキー【▲】【▼】を押して、温度を設定します。

▲	タイプ 3
[ON]	プリントヒート : 50℃
▼	プリントヒート : 50℃

OFF/20～60℃
OFF/68～140°F
10. 【ENTER】キーを押します。

ENTER	タイプ 3
[ON]	プリントヒート < ent >
11. 【END】キーを3回押します。
ローカルモードに戻ります。

END	<ローカル>
[ON]	ハバ° : 610 mm
12. ヒーターの電源をオンにします。
設定温度に達すると、CONSTANTランプが緑色に点灯します。☞ P.1-6



- 薄手のメディアは温度を低めに、厚手のメディアは温度を高めに設定します。

ノズル詰まりを確認／解消する

メディア（Tシャツ）にプリントする前に、リーフ紙にテストパターンをプリントします。プリント結果を見て、ノズル詰まりなどのプリント不良がないか確認します。異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。



- ★ クリーニング動作を繰り返しても作図不良が直らない場合は、ワイパとインクキャップを清掃してください。☞ P.3-4
- ★ テストパターンは、リーフ紙でプリントしてください。ドットが見えにくいいため、メディア（Tシャツ）では適正な判断ができません。
- ★ Tシャツプレートを装着してテストパターンをプリントする場合は、原点（プリント開始位置）を再設定してください。☞ P.4-15

テストパターンをプリントする

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

REMOTE



<ローカル>
ハバ[°] : 610 mm

2. 【TEST】キーを押します。

TEST



テストサクス[°]
<ENT>

3. 【ENTER】キーを押します。

テストプリントを開始します。
プリント終了後、テーブルが最前面に移動し、ローカルモードになります。

ENTER



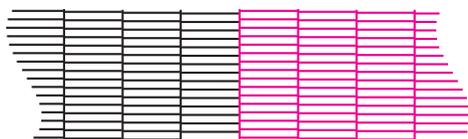
** テストサクス[°] **

4. プリント結果を確認します。

正常な場合は、操作を終了します。
異常がある場合は、次項に進みます。

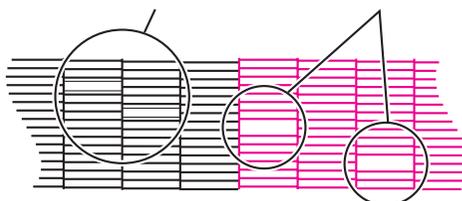
<ローカル>
ハバ[°] : 610 mm

正常なパターン



異常なパターン

ノズルが汚れている インクが詰まっている



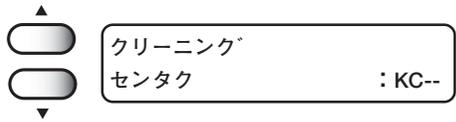
異常なパターンの場合

操作手順

1. 【CLEANING】キーを押します。



2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、クリーニングするヘッドを選びます。

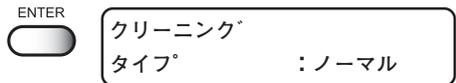


KCMY : 全てのヘッドをクリーニングする

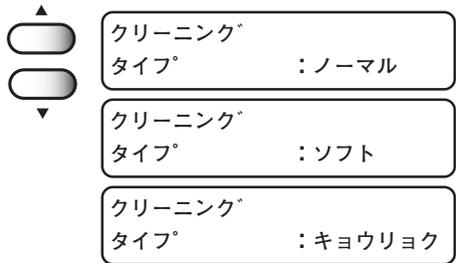
KC- : KとCのみクリーニングする

-MY : MとYのみクリーニングする

3. 【ENTER】キーを押します。



4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、クリーニング方法を選択します。



ノーマル:

線の抜けがある場合に使用します。

ソフト:

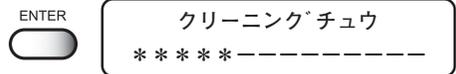
線の曲がりがある場合に使用します。

キョウリョク:

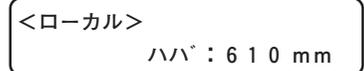
ノーマル、またはソフトのクリーニングを実行しても異常な場合に使用します。

5. 【ENTER】キーを押します。

クリーニング動作を開始します。動作の進行状況を*表示で知らせます。



クリーニングを終了すると、ローカルモードに戻ります。



6. 再度テストパターンをプリントし、結果を確認します。☞ P.2-6

結果が正常になるまで、上記手順1～3を繰り返してください。

メディア (Tシャツ) をセットする

メディアはシワをとってから、平らな状態でセットしてください。



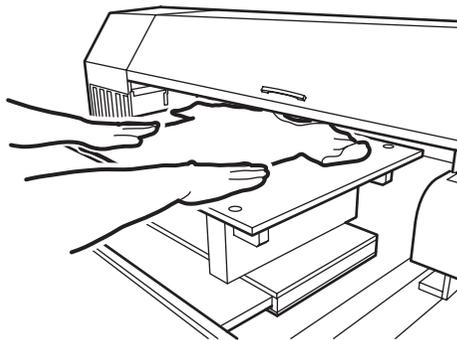
- ★ ヒーター加熱中は、テーブルが熱くなっています。火傷に注意してください。手袋をして作業することをお勧めします。
- ★ シワの多いメディア、カールのきついメディアは、プリント前にプレスして、カールやシワを取り除いてください。画質不良の原因になります。
- ★ 連続してプリントする場合は、水を含ませた布でテーブル、またはプレートについたインクを拭き取ります。

操作手順

1. テーブルが前に出ていることを確認し、テーブルにメディア (Tシャツ) をセットします。

必要に応じて、Zキー【▲】【▼】を押してヘッドを上げ、十分なエリアを確保してからメディアをセットします。(☞ P.4-15)

Zキーでヘッドを上げた場合、メディアセット後に【END】キーを押してヘッドの高さを戻してください。【ENTER】キーを押すと、ヘッドの高さが変更されてしまいます。

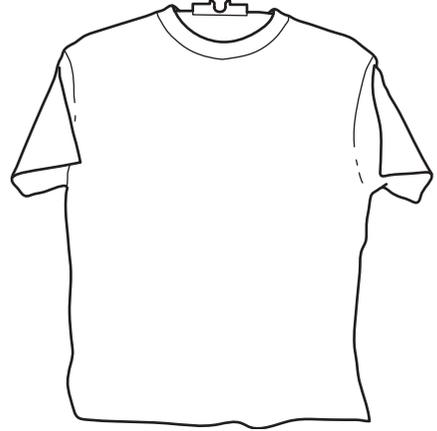


- ファンクション機能の[ワークチェンジ]を有効にすると、プリント終了後、ヘッドが自動的に上がります。(☞ P.4-9)

Tシャツプレートを使用する場合は

操作手順

1. TシャツプレートにTシャツを着せます。

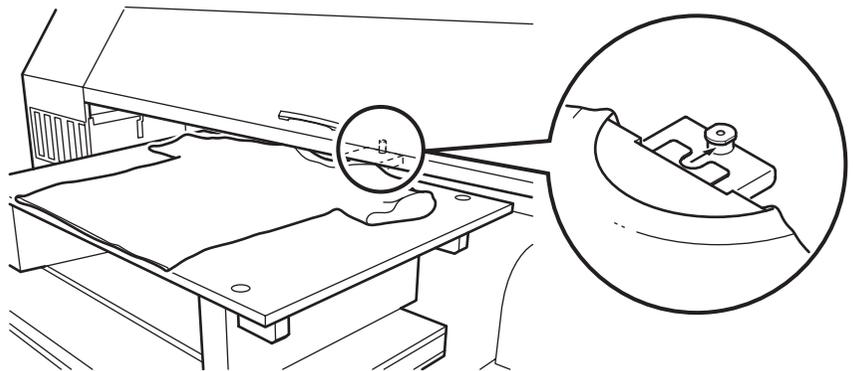


2. Tシャツを着せたプレートの本装置に固定します。



- ★ プレートは動かないようにセットしてください。
- ★ プリントしない部分は、プリント部分より上へ浮き上がらないようにしてください。

テーブル奥側の丸い突起に、プレート中央の穴をあわせます。



- ★ プリント後、プレートからTシャツを外す際は、プリント面を汚さないようにご注意ください。

メディア(Tシャツ)の厚みを読みとる

メディア (Tシャツ) の厚みをセンサーで読み取り、読みとった厚みに追従してヘッドが動きます。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。



<ローカル>
ハバ : 610 mm

2. 【CYCLE START】キーを押します。

有効プリント範囲を読み取り、メディア (Tシャツ) の厚みを読みとります。



<ローカル>
ワークセンシングチュウ



動作終了後、リモートモードになります。

リモート
タイプ 1 2. 5



注意

- ★ シワや毛羽立ちある布地を使用する場合は、Zキーを押して、ヘッドの高さを数mm上げます。ヘッドがシワや毛羽立ちのある部分にこする可能性があります。

P.4-15

- ★ 読みとったメディアの厚みは、以下の操作を行うまで有効です。

- ・ 電源をオフにする P.2-16
- ・ 再度、【CYCLE START】キーを押す
- ・ ファンクションモードからヘッドギャップを指定する P.4-16

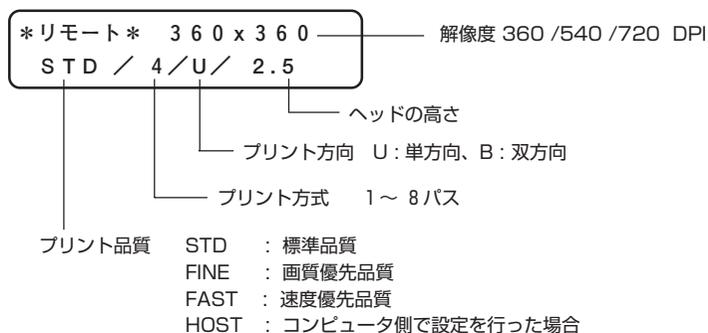
画像データをプリントする

プリントする

コンピュータからデータを受信するためのモード切り換え、およびプリント中の表示について説明します。

なお、必要な各種機能の設定については、「4章 設定機能について」をご覧ください。

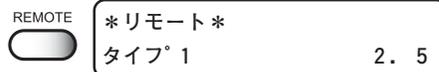
プリントを開始すると、ディスプレイに下記の情報を表示します。



操作手順

1. 【REMOTE】キーを押します。

ローカルモードからリモートモードになります。
現在選択しているタイプ（プリント条件）を確認できます。 P.44



● ヒーターが設定温度に達していないと、以下の表示になります。



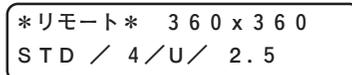
設定温度に達すると、リモートモードになります。

【REMOTE】キーを押すと、ローカルモードに戻ります。

【ENTER】キーを押すと、温度制御をスキップし、リモートモードになります。

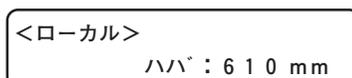
2. コンピュータからデータを送信します。

データのプリント条件を表示します。
データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



プリントを開始します。

手順2でプリントが終了すると、テーブルが最前面に移動し、終了をお知らせするブザー音がなります。その後、ローカルモードに戻ります。



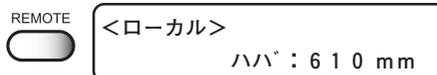
プリントを中止する

プリントを中止する場合、プリント動作を止めて、受信したデータを本装置から消去します。データを消去しないと、リモートモードにした際、中止したデータからプリントを開始してしまいます。

操作手順

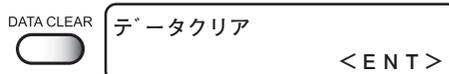
1. 【REMOTE】 キーを押します。

プリント動作を中止します。



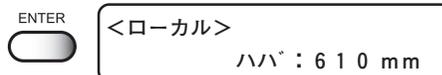
2. コンピュータからデータを送信している場合、データ送信を止めます。

3. 【DATA CLEAR】 キーを押します。



4. 【ENTER】 キーを押します。

受信したデータを消去し、テーブルが最前面に移動します。



【ERROR71 ワークタカイ】を表示したら



注意

- ★ プリント中は常にセンサーでメディア（Tシャツ）の高さを監視しています。センサーがメディアを検出すると、プリントを中断します。この場合は、以下の手順でプリントを再開します。

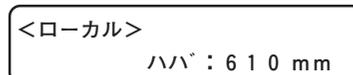
操作手順

1. 【END】 キーを押します。

ローカルモードに戻ります。



2. メディアのセット状態を確認します。浮いている部分があれば、セットし直します。



3. 【REMOTE】 キーを押します。

プリントを再開します。

プリントを中止する場合は、データクリアを実行します。☞ 上記「プリントを中止する」



注意

- ★ 上記の操作を行ってもプリントを中断してしまう場合は、以下の操作を行ってください。

- ・メディアの厚みを読み直す 【CYCLE START】 キー ☞ P.2-10
- ・ヘッドの高さを変更する 【Z】 キー、ファンクションモード ☞ P.4-16

プレスする

プリントが終了したら、メディア（Tシャツ）を取り外し、プレス機にかけてインクを定着させます。（捺染顔料インク使用時）



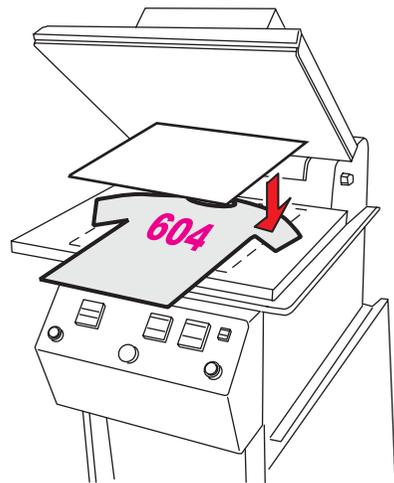
- ★ プリント面を白地につけないように注意してください。インクが乾いていないので、汚れる原因になります。
- ★ 専用のプレス機、またはオーブンをご使用ください。
温度が高くなると、素材によっては焦げることがあります。
また、アイロン加熱では、適する条件に設定するのが難しく、高い洗濯堅牢度が得られません。
- ★ メディア（Tシャツ）をプリントしてから後処理までの時間を一定にしてください。プリントしてから後処理までの時間によって、できあがったメディア（Tシャツ）の発色に若干の差が発生する場合があります。完全に乾燥する前に後処理を行うことにより、捨て紙にインクが取られてしまうことが原因です。
- ★ 反応染料、昇華転写インク使用時は、使用するメディア、用途にあわせて、前処理および後処理方法に工夫、改善を加えてください。

操作手順

1. プリント面に紙をのせ、その上から専用のプレス機、またはオーブンで加熱します。



- ★ 加熱条件は、素材や使用する装置の性能により異なります。
必ず使用状況にあわせ、最適な条件を設定してください。
- ★ 洗濯堅牢度は、素材や後処理条件により異なります。
最適な条件を設定後、染色堅牢度試験にてご確認ください。
- ★ 染色堅牢度、発色は、作業環境（気温や温度）の影響で大きく変化する場合があります。同一の作業環境下でのプリントを推奨いたします。



参考条件

	プレス機	オーブン
温度	160℃	160℃
時間	60秒	180秒
圧力	0.45 kg/cm ²	—

[ニアエンド / インクエンド]を表示したら

インクカートリッジ内のインクが少なくなると、メッセージを表示します。プリントは続行できますが、プリント中にインクが無くなる場合があります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。



注意

- ★ [ニアエンド]を表示したら、早めにインクを交換してください。連続出力を行う場合は、インク残量を確認後、プリントを開始してください。プリント中にインクが無くなると、動作を停止します。途中でインクを交換すると、色が変わってしまう場合があります。

<インク残量が少なくなった場合：ニアエンド>

インク残量が少ない色を表示します。

右の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

<ローカル>
ニアエンド* K-----

<インク残量が全く無くなった場合：インクエンド>

インクが無くなった色を表示します。

右の表示は、シアンインクが無くなったことを示しています。

<ローカル>
インクエンド* ---C-----

交換手順

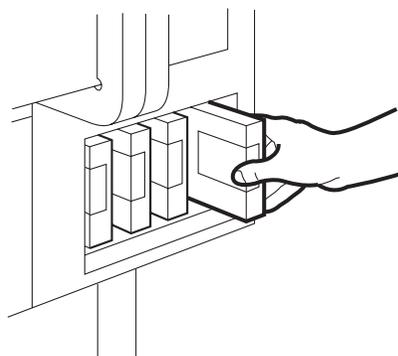
1. プリント中に、メッセージを表示します。

- [ニアエンド]では、1データをプリントするごとにローカルモードになり、動作を停止します。プリントが終了したら、手順2に進みます。
- [インクエンド]では、プリント動作は続行できません。

<ローカル>
ニアエンド* K-----

2. 新しいインクと交換します。

表示した色のインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。



3. [REMOTE] キーを押します。

リモートモードになり、連続してプリントできます。

リモート
タイプ 1 2. 5

電源をオフにする

プリンターの使用が終了したら、前面にある電源スイッチを押して、電源をオフにします。電源をオフにするときは、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。

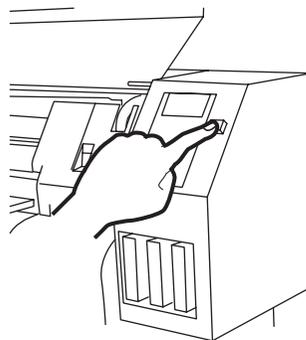
また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。



- ★ キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。プリント中に電源をオフにすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとノズル詰まりの原因になります。

操作手順

1. 前面にある電源スイッチを押します。
操作パネルの POWER ランプが消灯します。



2. 長期間使用しない場合は、背面にある主電源スイッチを押します。

3章

日常のお手入れ

日常のお手入れについて説明します。
本装置を良好に保つために、作業終了後はお手入れを行ってください。

本章の内容

日常のお手入れ	3-2
ワイパとキャップのクリーニング	3-4
廃インクが溜まったら	3-6

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れしてください。

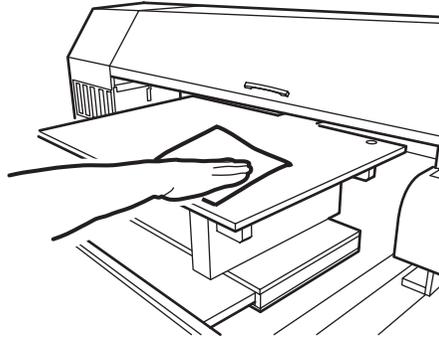
お手入れ上のご注意



- ★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
- ★ お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- ★ ヘッドのノズル面やワイパ、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。
- ★ ペンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- ★ 本装置は絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

本体の外装が汚れた場合は

本体の外装 / テーブル / Tシャツプレートが汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



ワイパとキャップのクリーニング

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥による目詰まりを防止します。
ワイパは、ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取ります。
本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。
画質や本装置の状態を良好に保つために、毎日の作業終了後、ワイパとキャップをクリーニングしてください。



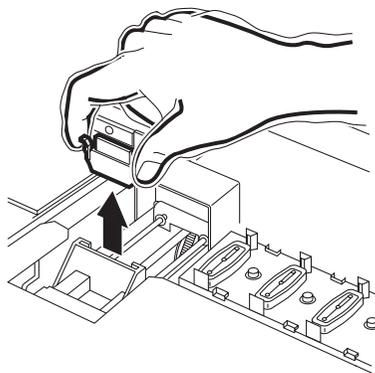
★ キャッピングステーションから手でキャリッジを出さないでください。キャリッジはジョグキー【▲】または【▼】を押して動かします。

操作手順

1. ローカルモードで、【FUNCTION】キーを1回押します。
 FUNCTION
セッテイ <ENT>
2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選択します。
 FUNCTION
メンテナンス <ENT>
3. 【ENTER】キーを押します。
 エンター
メンテナンス
ステーション メンテ <ent>
4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[キャリッジ アウト]を選択します。
 エンター
メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>
5. 【ENTER】キーを押します。
 エンター
ステーション メンテ
メンテ : キャリッジ アウト
6. 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがテーブル上に移動します。
 エンター
ステーション メンテ
シュウリョウ : ent
7. フロントカバーを開けます。
8. ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



● 手袋をすると、手が汚れません。

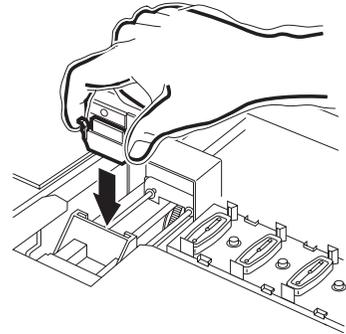


9. 使用したワイパは、水で洗浄し、乾燥させておきます。



- 汚れ、曲がりが多い場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。☞ P.5-5

10. 両端の突起を持って、交換用ワイパを差し込みます。

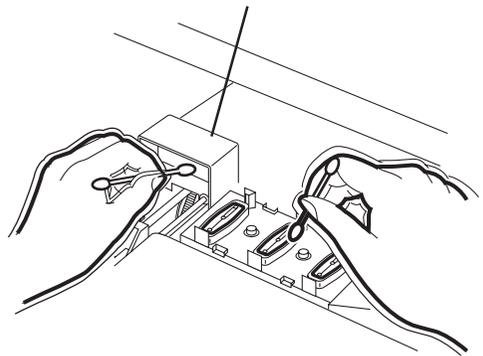


11. キャップのゴムや、ワイパカバーの天井に付着したインク等を綿棒で拭き取ります。

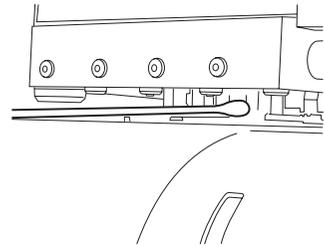


- ★ 綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

ワイパカバー



- ヘッドの側面にもインクが付着していることがあります。インクを綿棒で拭き取ってください。



12. フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

ENTER



シヨキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ

<ローカル>

ハハ° : 6 1 0 mm

廃インクが溜まったら

クリーニング機能などで使用したインクは、本装置右下にある廃インクタンクに溜まりま
す。

廃インクタンク内のインク量が目視で半分を超えたら、速やかに廃インクタンクを交換して
ください。



★ インクを排出中の場合は、排出が終了してから作業してください。

操作手順

1. 廃インクタンクを手前に引き出します。



★ 廃インクを飛ばさないように、廃インクタンクの口をペーパータオルなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。

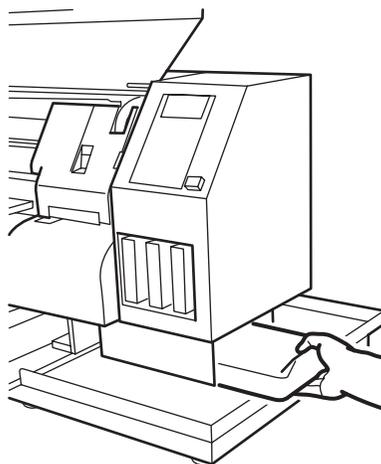
★ 下に紙を敷いてから交換してください。インクで床が汚れる可能性があります。

2. 廃インクを処分します。



★ 廃インクは市販のポリエチレンタンクなどに移します。廃インクは、地域の条例にしたがって処分してください。

3. 空にした廃インクタンクを差し込みます。



4章

設定機能について

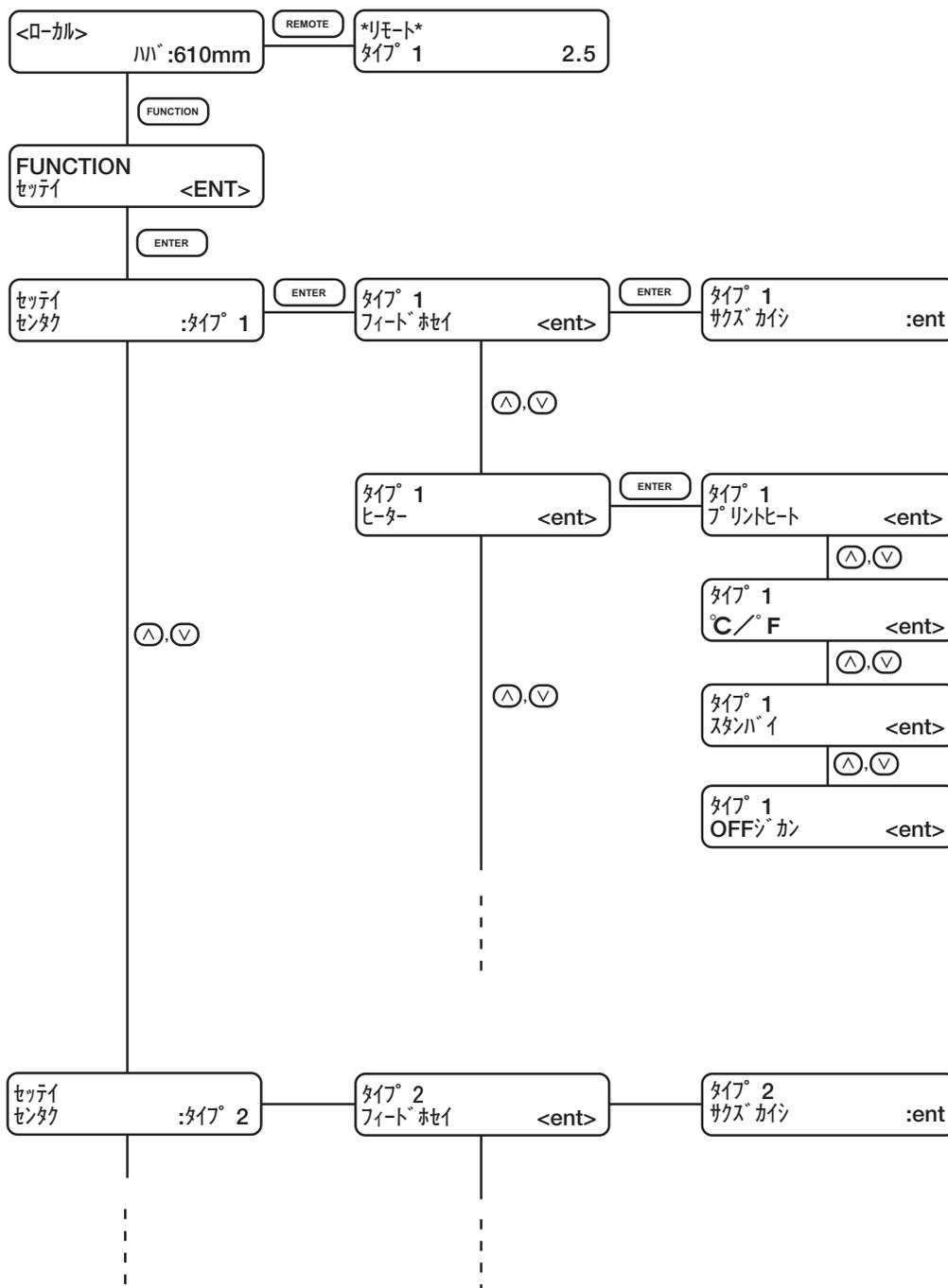
ファンクション機能や原点の設定について説明します。

本章の内容

メニューの基本操作	4-2
作図条件をまとめて登録する（タイプ登録）.....	4-4
設定機能について	4-5
プリント範囲を指定する	4-10
使用するインクの種類を設定する[インクタイプ].....	4-14
原点を設定する	4-15
ヘッドの高さを変更する[ヘッドギャップ].....	4-16
メディア（Tシャツ）の送り量を補正する[フィード補正].....	4-18
ディスプレイの表示言語を変更する	4-20

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
 各メニューに入るキー操作は、下図のようになります。
 詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。



- ① **ローカルモードにします。**

リモートモードにしても作図しないことを確認してから、【REMOTE】キーを押してローカルモードにします。
- ② **ファンクションモードに入ります。**

【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードに入ります。
ファンクションモードは、設定機能とメンテナンス機能にわかれています。
ここで設定機能がメンテナンス機能かを選択します。
- ③ **タイプを選択します。**

4種類のタイプに、それぞれファンクション機能を記憶させます。
用途によってファンクション機能を設定できます。
- ④ **ファンクション機能を選択します。**

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、機能を選択します。
- ⑤ **選択したファンクション機能に入ります。**

【ENTER】キーを押します。
- ⑥ **パラメータを選択します。**

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、パラメータを選択します。
- ⑦ **設定を登録します。**

【ENTER】キーを押します。
- ⑧ **ローカルモードに戻ります。**

【END】キーを数回押して、ローカルモードに戻ります。

作図条件をまとめて登録する（タイプ登録）

ファンクションモードの設定機能は、用途にあわせてそれぞれ4タイプ（タイプ1～4）に登録できます。

それぞれのタイプに各種条件を登録しておくことで、容易にプリント条件を変更できます。

タイプを登録する

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

<ローカル>
ハバ° : 610 mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
FUNCTION
セッテイ <ENT>

3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
セッテイ
センタク : タイプ° 1

4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、タイプ番号を選択します。

▲
セッテイ
センタク : タイプ° 2
▼

5. 【ENTER】キーを押します。
各条件を設定します。☞ P.45

ENTER
タイプ2
フィードホセイ <ent>

タイプを変更する

すでにタイプ1から4の各プリント条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、プリントに合わせた設定を切り替えて使用できます。

1. 上記操作手順1から5を実行します。
使用するタイプを選択します。

セッテイ
センタク : タイプ° 3

2. 【END】キーを押します。
選択したタイプでプリントします。

タイプ3
フィードホセイ <ent>

設定機能について

設定機能一覧

ファンクションモードの設定機能には 13 項目の機能があります。
各機能の概要について説明します。

機能名称	概要	
フィードホセイ	プリント時のメディアの送り量を補正する	P.4-6、付録-8
ヒーター	ヒーターの状態を設定する	P.4-6、付録-8
サクズハウシキ	プリント品質、プリント方向を設定する	P.4-7、付録-8
カサネヌリ	インクの重ね塗りをを行う	P.4-8、付録-8
カンソウジカン	インクの乾燥時間を設定する	P.4-8、付録-8
ユウセンジュンイ	優先する設定（パネル/ホスト）を決定する	P.4-8、付録-8
リフレッシュ	プリント中に、インクヘッドのリフレッシュを行う	P.4-8、付録-8
ミリ/インチ	表示単位を決定する	P.4-9、付録-9
スタンプ	出力日時、出力条件を印刷する	P.4-9、付録-9
オートクリーニング	プリントごとに、ヘッドを自動的にクリーニングする	P.4-9、付録-9
ワークチェンジ	プリント後、ヘッドを自動的に上げる	P.4-9、付録-9
LED ポインタ	プリント範囲設定方法（ポイント/エリア）を選択する	P.4-9、付録-9
インクタイプ	使用するインクの種類を設定する	P.4-9、付録-9
セッテリセット	設定条件を初期化する	P.4-9、付録-9

メディアの送り量を補正する[フィードホセイ] P.4-18

メディア (Tシャツ) の種類を変更した場合、またはヒーターの温度を変更した場合、メディア (Tシャツ) の送り量を補正します。
(-255 ~ 255)

ヒーターの状態を設定する[ヒーター] 付録-8

テーブルに内蔵のヒーターについて設定します。

プリントヒート： ヒーターの温度を設定します。 P.2-5
(OFF, 20 ~ 60°C / 68 ~ 140°F)

°C/°F： 温度の表示単位を切り替えます。
(°C, °F)

スタンバイ： プリント終了後、ヒーターが予熱温度に下がり始める時間を設定します。あらかじめ予熱温度は設定されているので変更はできません。温度が下がった状態でプリントを開始すると、自動的に設定温度まで上がります。
「ナシ」を設定すると、予熱温度になりません。
(ナシ, 10 ~ 90 min / 10 min 単位)

OFF ジカン： 以下の場合にヒーターをオフにします。
・スタンバイ時、設定した時間を超過してもプリントしない場合
・スタンバイ-「ナシ」の設定時、プリント終了後に設定時間以上プリントしない場合
ヒーターがオフ状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってからプリントを開始します。
「ナシ」を設定すると、ヒーターはオフになりません。
(ナシ, 30, 60, 90 min.)

プリント品質 / 方向を設定する[サクズハウシキ] 付録-8

プリントの品質、プリント方向、およびロジカルシークについて設定します。

サクズヒンシツ： 3種類の中から選択します。
(ヒョウジュン, キレイ, ハヤイ)

ハウコウ： ヘッドが動く際に、左右どちらに移動したときにプリントするか設定します。
「タンハウコウ」：ヘッドが左へ移動しながらプリントします。
「ソウハウコウ」：ヘッドが左右に移動しながらプリントします。
* 「タンハウコウ」より高速にプリントしますが、画質は多少低下します。
(タンハウコウ, ソウハウコウ)

ロジカルシーク：メディア幅いっぱいにヘッドが移動してプリントするか、画像幅に合わせてヘッドが移動してプリントするかを設定します。

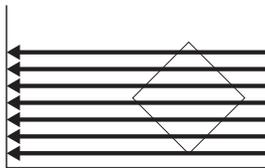
「ON」：プリント画像の幅のみスキャンします。プリント時間が短縮できます。

「OFF」：プリント画像の大きさにかかわらず、常にメディア幅をスキャンします。

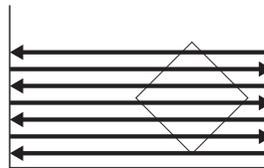
(ON, OFF)

ヘッドの動き

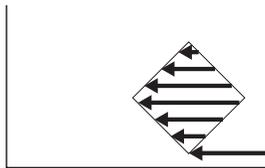
OFF (単方向作図)



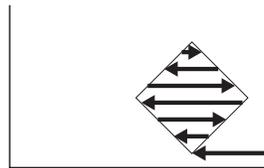
OFF (双方向作図)



ON (単方向作図)



ON (双方向作図)



注意

- ★ ロジカルシークの「ON」と「OFF」では、発色の違いが見られる場合があります。スキャン幅が異なるため、インク乾燥の仕方に違いが出ることに起因しています。ロジカルシークの「ON/OFF」を確認してからプリントしてください。

重ね塗りする[カサネヌリ] 付録-8

インクの発色が悪い場合、重ね書きする回数を設定します。
(1～9回)

インクの乾燥時間を設定する[カンソウジカン] 付録-8

インクの乾燥時間を設定します。
スキャンごと（1回のヘッド移動）の待ち時間を設定します。
乾燥時間は、プリントの印字密度およびメディアの種類により設定します。

スキャン： 往路または復路による1回のヘッド移動で、一時停止する時間を設定します。
(0.0～9.9 sec.)



★ 3秒以上の時間を指定すると、インク詰まりの保護機能が働き、ヘッドがキャッピングステーションに戻り、いったんキャッピングします。

設定の優先を決める[ユウセンジュンイ] 付録-8

下記の5機能を本装置（パネル）で設定した値を優先にするか、コンピュータ（ホスト）で設定した値を有効にするか設定します。

(ホスト、パネル)

- ・ フィードホセイ
- ・ ヒーター
- ・ サクズハウシキ
- ・ カサネヌリ
- ・ カンソウジカン

インク詰まりを防ぐ[リフレッシュ] 付録-8

プリント中にインクヘッドのリフレッシュを行い、ヘッドのインク詰まりを防ぎます。
ホコリが多い場所や、湿度の低い場所で本機能を使用します。
レベル数が多いほど、リフレッシュ回数が多くなります。
(レベル0～3)

表示単位を設定する[ミリ/インチ] 付録-9

表示する単位を設定します。出荷時は[ミリ]に設定してあります。
(ミリ、インチ)

出力条件を印刷する[スタンプ] 付録-9

プリント終了後に、出力条件、出力日時を印刷します。

モードスタンプ：出力条件を印刷します。
(ON, OFF)

タイムスタンプ：出力日時を印刷します。
(ON, OFF)

自動的にクリーニングする[オートクリーニング] 付録-9

自動的にヘッドをクリーニングします。
プリントごとにクリーニングを実行して、画質不良を防止します。
(ON, OFF)

プリント後、ヘッドを自動的に上げる[ワークチェンジ] 付録-9

容易にワークを交換できるように、プリント終了後、ヘッドを自動的に上げます。
(ON, OFF)

プリント範囲指定方法を決める[LED ポインタ] 付録-9

プリント範囲指定において、ポイント指定（プリント基準点指定）を行うか、エリア指定（プリント範囲指定）を行うかを選択します。  P.4-10
(ポイント, エリア)

使用するインクの種類を設定する[インクタイプ] 付録-9

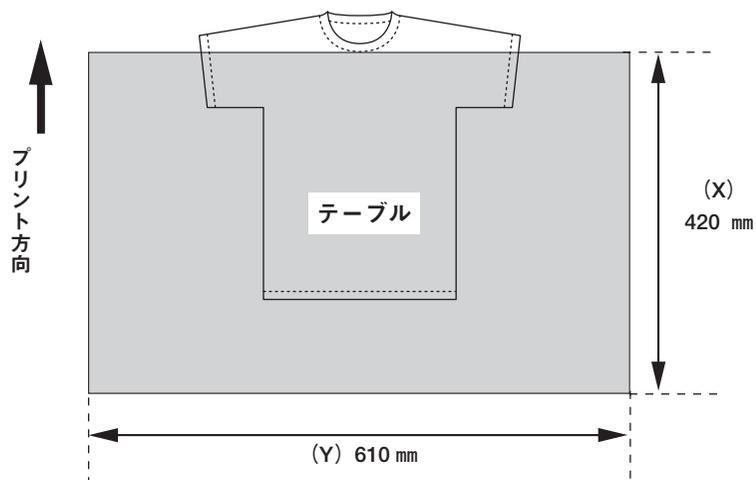
2種類のインクを同時に充填している際に、使用するインクのタイプを設定します。
 P.4-14
(TPig, Sub)

設定条件を初期化する[セッテイリセット] 付録-9

設定条件を、工場出荷時の設定値に戻します。タイプごとにリセットします。

プリント範囲を指定する

本装置は、テーブル面の黒枠内にプリントできます。



注意

- ★ テスト印刷時以外は、原点（プリント開始位置）を変更しないでください。
本装置で原点を変更すると、RasterLinkTAIII（出力ソフトウェア）の原点と誤差が生じます。
原点を変更する場合は、必ず RasterLinkTAIII 側で変更してください。

プリント範囲を指定する

本装置は、2通りの方法でプリント範囲を指定できます。

ファンクション機能[LED ポインタ]で2通り（ポイント/エリア）の切替えが可能です。

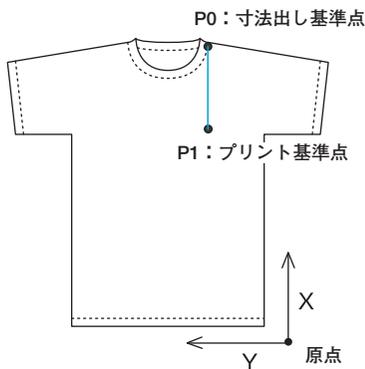
 P.4-9

指定したプリント範囲は、RasterLinkTAMIII（出力ソフトウェア）で読み取り、出力データを作成します。詳しくは、RasterLinkTAMIII 取扱説明書をご覧ください。

1. ポイント（プリント基準点）指定

任意の点(P1)を指定し、プリント基準点とします。

1. プリント基準点(P1)の寸法を出すための基準点(P0)を指定します。
2. 任意の1点(P1)を指定します。この点を基準に出力データを作成します。

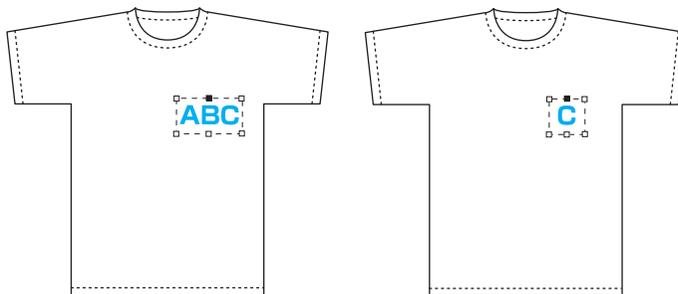


例) 左襟端の下 200mm にプリントする場合

1. P0を左襟端 (X, Y)に設定します。
2. P0から(X-200,Y) の場所に、P1を決定します。
3. RasterLinkTAMIIIで読み込みます。

RasterLinkTAMIIIで設定すると、文字数が異なる場合でも
任意の位置に合わせてプリントができます。

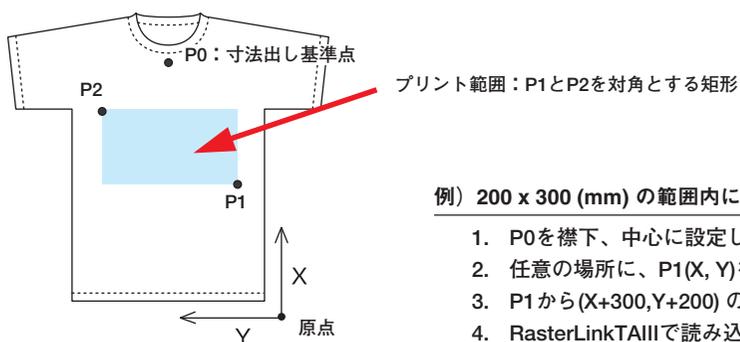
例) P1に中心合わせでプリントした場合



2. エリア (プリント範囲) 指定

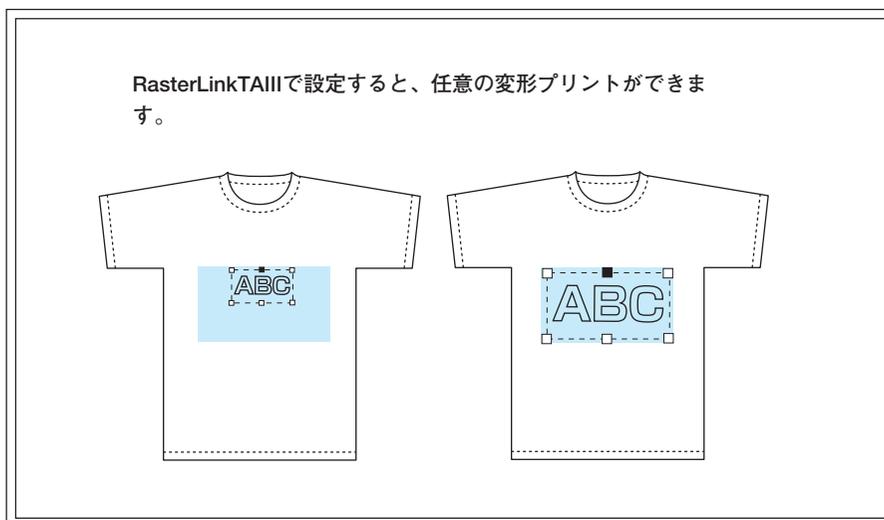
任意の2点(P1/P2)を指定し、プリント範囲とします。

1. 寸法出しの基準点(P0)を指定します。
2. 任意の2点(P1/P2)を指定します。
2点を対角とする矩形がプリント範囲になります。



例) 200 x 300 (mm) の範囲内にプリントする場合

1. P0を襟下、中心に設定します。
2. 任意の場所に、P1(X, Y)を決定します。
3. P1から(X+300, Y+200)の場所に、P2を決定します。
4. RasterLinkTAPIIIで読み込みます。



電源をオンにした直後のプリント範囲は、テーブル面全体 (最大プリント範囲：420 x 610 mm) に設定してあります。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

<ローカル>

ハバ：610 mm

2. 【LED POINTER】キーを押します。

設定してある P0 点にヘッドが移動します。

LED POINTER



3. ジョグキー 【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 を押し、P0 点(寸法出しの基準点)を設定する位置に LED ポインタを移動します。

LEDポインタ : P0
0.0 0.0

原点からの相対座標表示



- LED ポインタの点灯している点が、表示座標になります。

4. 【ENTER】キーを押し、P0 点を決定します。

設定してある P1 点にヘッドが移動します。

ENTER



LEDポインタ : P1
100.0 100.0

P0点からの相対座標表示

5. ジョグキー 【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 を押し、設定する P1 点に LED ポインタを移動させます。

6. 【ENTER】キーを押します。

P1 点を決定します。

ENTER



- ポイント指定 (プリント基準点指定) の場合は、ローカルモードに戻ります。

- エリア指定 (プリント範囲指定) の場合は、設定してある P2 点にヘッドが移動します。

7. ジョグキー 【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 を押し、設定する P2 点にヘッドを移動させます。

LEDポインタ : P2
300.0 300.0

P1点からの相対座標表示

8. 【ENTER】キーを押します。

P2 点を決定します。

ENTER



使用するインクの種類を設定する[インクタイプ°]

本装置は2種類のインクを同時に充填することができますが、作図の際は1種類のインクを選択して作図します。作図データとプリントする生地に合わせて、使用するインクを選択してから作図してください。

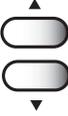
TPig : 捺染顔料インク

Sub : 昇華転写インク



★ TP インク、Sb51 インクを同時に装填している場合以外は、「インクタイプの設定」は表示されません。

操作手順

- ローカルモードで、【FUNCTION】キーを押します。
 FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 【ENTER】キーを押します。
 セッテイ
センタク : タイプ 1
- ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。☞ P.4-4
ここでは[タイプ1]を選択します。
 セッテイ
センタク : タイプ 1
- 【ENTER】キーを押します。
 タイプ° 1
フィードホセイ <ent>
- ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[インクタイプ]を選択します。
 タイプ° 1
インクタイプ <ent>
- 【ENTER】キーを押します。
インクタイプ設定メニューを表示します。
 タイプ° 1
インクタイプ : TPig
- ジョグキー【▲】または【▼】を押して、インクタイプを選択します。
ここでは、インクタイプ[TPig]を選択します。
 セッテイ
センタク : タイプ 1
- 【ENTER】キーを押します。
 タイプ° 1
インクタイプ <ent>
- 【END】キーを2回押します。
ローカルモードに戻ります
 <ローカル>
ハハ° : 610 mm

原点を設定する

プレートを装着時にノズル確認などのテストパターンを印刷する場合は、原点（データのプリント開始位置）を再設定します。

テスト印刷以外のプリントは、RasterLinkTAMII（出力ソフトウェア）で原点を設定します。

操作手順

1. ローカルモードで、ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、原点を設定する位置までキャリッジを動かします。



- LEDポインタの点灯している点が、表示座標になります。

<ローカル>
ハハ^ハ : 6 1 0 mm

ゲンテンセッテイ
0.0 0.0

原点位置（長さ） 原点位置（幅）

2. 原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。
有効作図範囲を表示後、ローカルモードになります。



ゲンテンセッテイ
X = 3 0 0 Y = 3 0 0

次回作図を開始する場合は、この設定位置を原点とします。

キャリッジの移動開始時、および移動中にセンサーがメディアを検出したら



注意

- ★ キャリッジの移動開始時、および移動中にセンサーがメディアを検出した場合、移動を停止し、エラーメッセージを表示します。
この場合は、以下の操作を行ってください。

操作手順

1. Zキー【▲】を押します。
ヘッドが上がります。
2. ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、原点を設定する位置までキャリッジを動かします。



ERROR71
ワーク タカイ

ゲンテンセッテイ
Zタカサ 8.0

3. 原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。



<ローカル>
ハハ^ハ : 6 1 0 mm

ヘッドの高さを変更する[ヘッドギャップ]

シワや毛羽立ちのあるメディアを使用する場合は、ヘッドの高さ（ヘッドギャップ）を調整してください。

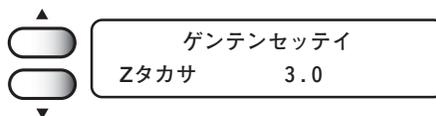
【CYCLE START】キーでメディアの厚みを読み込むだけでは、シワや毛羽立ち部分にヘッドがこする可能性があります。

本装置は2通りの方法でヘッドギャップを変更できます。

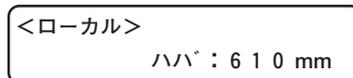
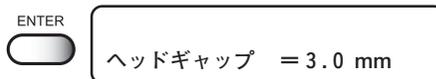
(出荷時はヘッドギャップ 2.5 mm に設定されています。)

1. Zキーを押してヘッドギャップを指定する

1. ローカルモードでZキー【▲】【▼】を押し、ヘッドの高さを上下に調整します。



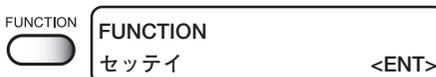
2. 高さを決定したら、【ENTER】キーを押します。



- 手順2で指定できるヘッドの高さは、1.0～8.0mmの範囲です。
- 操作の途中でヘッドギャップの調整を中止したい場合は、以下のようにしてください。
 1. 手順2の操作をする前に【END】キーを押します。
 2. 現在のヘッド位置からメディア高さを検出し、「メディア高さ+ヘッドギャップ値」までヘッド位置が移動します。

2. ファンクションモードからヘッドギャップを指定する

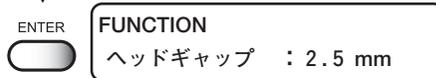
1. ローカルモードで、【FUNCTION】キーを押します。



2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、「ヘッドギャップ」を選択します。



3. 【ENTER】キーを押します。



4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、ヘッドの高さを変更します。

1.0～8.0 (0.1mm単位)



ヘッドの高さを変更する[ヘッドギャップ]

5. 【ENTER】キーを押します。

ジョグモードになります。

6. ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、テーブル上のヘッドギャップを設定する位置へキャリッジを移動します。

ヘッドギャップ
..* *.*.*



注意

★ このとき、キャリッジ位置は、LEDポインタ基準ではなく、ヘッド基準で動作します。

7. 【ENTER】キーを押します。

メディアの高さを測定し、手順4で指定した高さへヘッドが移動します。

ENTER



ヘッドギャップ = 2.0 mm



注意

★ 【CYCLE START】キーで読み取ったメディアの厚みはクリアされます。

 P.2-10

ヘッドギャップ更新後、ローカルモードになります。

<ローカル>

ハ/ハ : 6 1 0 mm

メディア (Tシャツ) の送り量を補正する[フィードバック]

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更した場合、メディア (Tシャツ) の送り量が変わります。必ずメディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、画像に縞などが入るなど、綺麗にプリントできない場合があります。

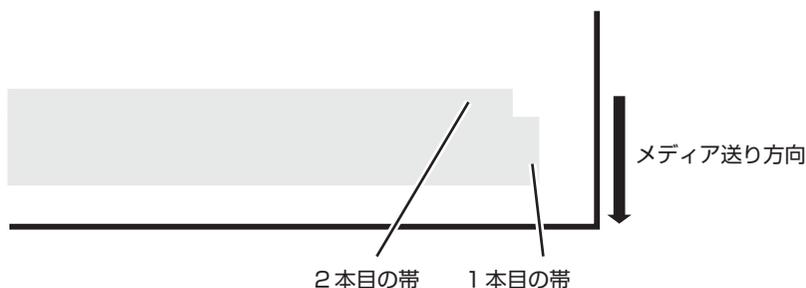


- ★ ヒーターの温度を変更した場合は、**CONSTANT** ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
- ★ 補正パターンは、有効エリアの全幅 (Y方向) に作図します。
メディアをセットしていない部分が汚れないように注意してください。

補正パターン

2本の帯を作図します。

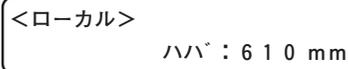
2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



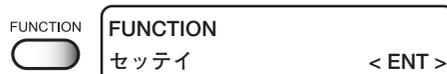
操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

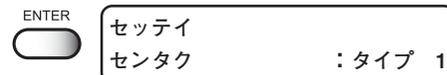
リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。



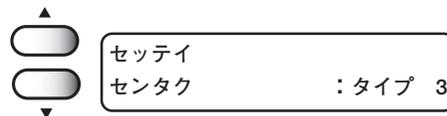
2. 【FUNCTION】キーを押します。



3. 【ENTER】キーを押します。



4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。(P.4-4参照)

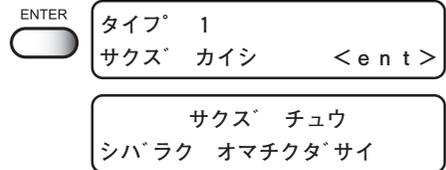


メディア (Tシャツ) の送り量を補正する[フィード]軸

5. 【ENTER】 キーを押します。



6. 【ENTER】 キーを押します。
補正パターンを出力します。



7. 出力パターンの状態を確認します。

ジョグキー 【▲】 【▼】 を押して、補正値を入力します。(-255 ~ 255)



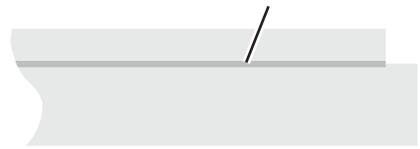
- 補正値を 30 変更するごとに、帯が約 0.1mm 移動します。
この移動量を参考にして、補正量を決定してください。

隙間が空いている



補正値が大きい

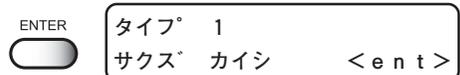
重なっている



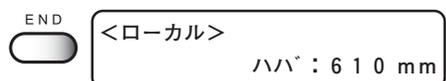
補正値が小さい

8. 【ENTER】 キーを押します。

補正値を登録します。
正常なパターンを作図するまで、手順6~8を繰り返します。



9. 【END】 キーを3回押すと、ローカルモードに戻ります。



ディスプレイの表示言語を変更する

ディスプレイに表示する言語は、7カ国語（日本語 / 英語 / ポルトガル語 / イタリア語 / スペイン語 / フランス語 / ドイツ語）を選択できます。

プリンターの初期値は[Japanese]です。表示言語を英語にしてみましょう。

操作手順

1. ローカルモードで、【FUNCTION】キーを押します。



2. ジョグキー【▼】を押し、[DISPLAY]を選択します。



3. 【ENTER】キーを押します。



4. ジョグキー【◀▶】を押して、表示する言語を選びます。



5. 【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。



5 章

メンテナンス機能

本装置を適正に使えるよう、メンテナンスを行いましょう。
本装置の維持、または使用を一定期間停止する場合もメンテナ
ンスを行ってください。

本章の内容

メンテナンスについて	5-2
ステーション内の清掃[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト]	5-4
ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパリセット]	5-5
ノズルの洗浄[ノズルセンジョウ]	5-7
インク排出路の洗浄について[ヘッドセンジョウ]	5-9
長期間使用しない場合[ヘッドセンジョウ]	5-11
双方向作図時の調整について[ドットインジェクション]	5-14
ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合	5-16
設定条件を印刷する[リスト]	5-18
HEX コードで印刷する[データシート]	5-19
ワイパ寿命の警告表示[ワイパレベル]	5-20
異なる種類のインクを装填する[インクリセット]	5-21
2種類のインクを同時に充填する（2way 機能）	5-23
時刻を設定する[システムメニュー]	5-24
本装置の情報を表示する[メンテナンスメニュー]	5-25

メンテナンスについて

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

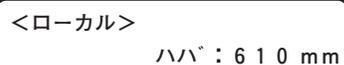
メンテナンス機能の導入

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。



<ローカル>
ハバ : 610 mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。



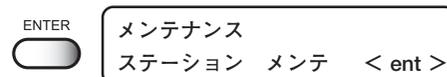
FUNCTION
FUNCTION
セッテイ <ENT>

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



▲
▼
FUNCTION
メンテナンス <ENT>

4. 【ENTER】キーを押します。



ENTER
メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

5. 次の操作を選択します。

各メンテナンス機能を設定して、メンテナンスを実行します。📖 P.53

設定機能一覧

各機能の概要について説明します。

機能名称	概要	
ステーションメンテ	ステーション内部の清掃、ワイパ交換などを行う (キャリッジアウト、ワイパコウカン、ノズルセンジョウ ハイロセンジョウ、ホカンセンジョウ)	P.5-4
ドットイチホセイ	双方向作図時のドット位置を補正する	P.5-14
インクジュウテン ヘッドセンジョウ	「ヘッドクリーニング」を行っても、ノズル詰まりが 復旧しない場合に行う洗浄機能	P.5-16
リスト	本装置の設定状態を印刷する	P.5-18
データダンプ	コンピュータから受信したデータを HEX コードで 印刷する	P.5-19
ワイパレベル	使用環境により、ワイパ交換時期の警告を早めに促す 設定を行う	P.5-20
インクコウカン	異なる種類のインクに変更する	P.5-21
ジコクセッテイ	本体内蔵カレンダーの日付、時刻を設定する	P.5-24
マシンジョウホウ	本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号、 ディーラー番号を表示する	P.5-25

ステーション内の清掃[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト]

ステーション内部の清掃や、消耗品の交換などを行う際にキャリッジを移動します。



- ★ キャリッジは、手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジはジョグキーを使用して動かします。

[ステーションメンテ]には、以下の項目があります。

- キャリッジアウト : ステーション内部の掃除のためにキャリッジを移動します。
- ワイパコウカン : ワイパ交換の表示が出たら、ワイパを交換します。☞ P.5-5

操作手順

1. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[キャリッジアウト]を選択します。

キャリッジがステーション上から移動します。



2. フロントカバーを開けて、以下のメンテナンスを行います。☞ P.3-4

- **インクキャップのクリーニング**

キャップのゴムに付着したインク等を、綿棒で拭き取ります。

- **ワイパのクリーニング**

使用したワイパは、水で洗浄し、乾燥させます。

本装置には3つのワイパを添付しております。交換してご使用ください。

- **ワイパカバーのクリーニング**

ワイパカバーの天井に付着したインクを、綿棒で取り除きます。

ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパ]コウカン

ワイパは消耗品です。以下のメッセージを表示したら、速やかにワイパを交換してください。

<ローカル>
ワイパコウカンシテクダサイ

同時に、スライダー下面に付着したインクをクリーニングします。



- クリーニングワイパは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。



- ★ 新しいワイパを交換する時以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。

操作手順

1. [ワイパコウカン]を選択します。
キャリッジがステーション上から移動します。

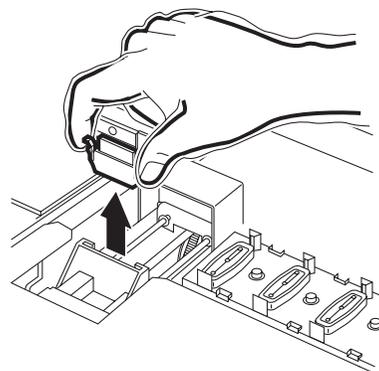
ステーション メンテ
メンテ : ワイパコウカン

2. フロントカバーを開けて、ワイパを交換します。

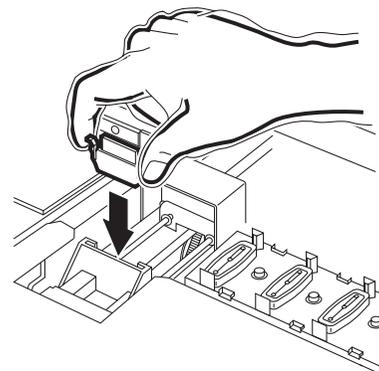
3. 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



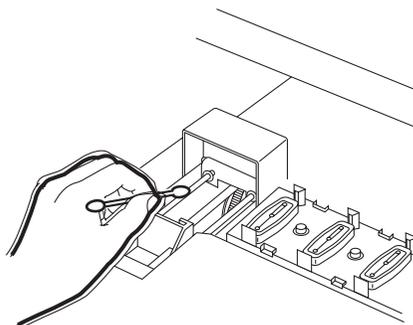
- 手袋をすると、手が汚れません。



4. 両端の突起を持って新しいワイパを差し込みます。



-
5. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。



6. フロントカバーを締めます。

シヨキカチュウ
シバラクオマチクダサイ

7. 【ENTER】 キーを押します。
ローカルモードに戻ります。



<ローカル>

ハバ° : 6 1 0 mm

ノズルの洗浄[ノズルセンジョウ]



★ この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インクジュウテン]、[ヘッドセンジョウ]機能（ P.5-16）を実行してください。それでも解消されない場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。

操作手順

1. 【FUNCTION】 キーを押します。



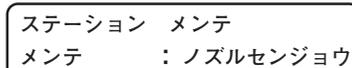
2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]選びます。



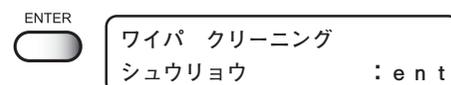
3. 【ENTER】 キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。



4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ノズルセンジョウ]を選びます。

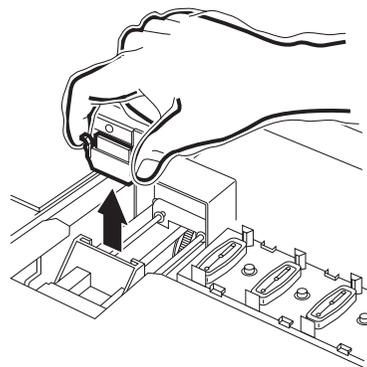


5. 【ENTER】 キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。



6. フロントカバーを開けます。

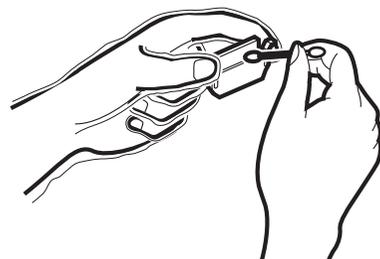
7. ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



8. ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。



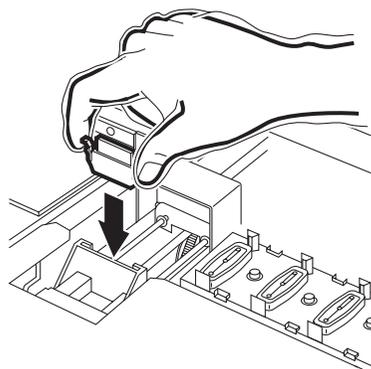
- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。



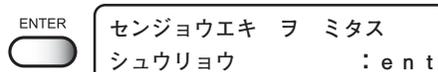
5

メンテナンス機能

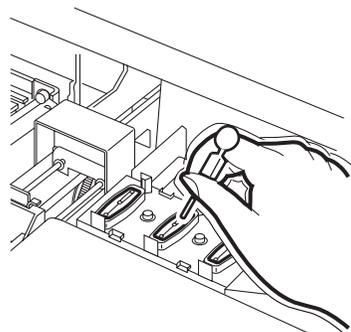
9. 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。



10. 【ENTER】 キーを押します。



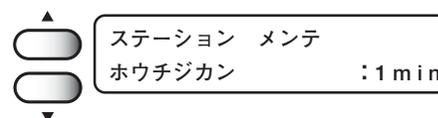
11. スポイトでメンテナンス洗剤液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。



12. フロントカバーを閉め、【ENTER】 キーを押します。

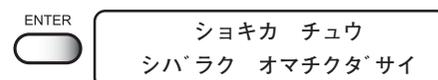


13. ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。(1～99分：1分単位)
通常は「1分」で設定します。



14. 【ENTER】 キーを押します。

洗剤液吸引、クリーニング動作のため、右の表示が設定した放置時間、続きます。



15. ローカルモードに戻ります。

<ローカル>

インク排出路の洗浄について[ハイロ センジョウ]

インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。このインク詰まりを防止するために、排出路内を洗浄します。



★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る可能性があります。



注意

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジはジョグキーを使用して動かします。

用意するもの：

- ・メンテナンス用洗浄液（SPC-0137）
- ・スポイト
- ・手袋、ゴーグル

操作手順

1. [ステーションメンテ]を選択します。

メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

2. 【ENTER】キーを押します。

[キャリッジ アウト]を表示します。



ステーション メンテ
メンテ : キャリッジ アウト

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ハイロ センジョウ]を選びます。



ステーション メンテ
メンテ : ハイロ センジョウ

4. 【ENTER】キーを押します。

キャリッジがプラテン上に移動します。

空吸引動作が始まります。吸引動作を5秒、停止時間が10秒をそれぞれ交互に動作し続けます。



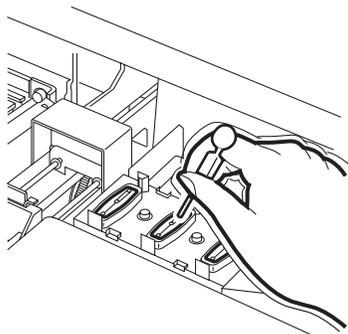
ステーション メンテ
シュウリョウ : ent

5

メンテナンス機能

5. フロントカバーを開けます。

6. スポイトでメンテナンス洗淨液をとります。空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前までメンテナンス洗淨液を垂らします。すべてのキャップに対して同様にメンテナンス洗淨液を垂らします。



7. フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

30秒間空吸引を実行した後、ローカルモードになります。



ステーション メンテ
シュウリョウ : e n t

シヨキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ

<ローカル>

長期間使用しない場合[ホカン センジョウ]

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。

その後、本装置を保管してください。

用意するもの：

- ・メンテナンス用洗浄液 (SPC-0137)、スポイト
- ・手袋、ゴーグル

操作手順

1. [ステーション メンテ]を選択します。

メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ホカン センジョウ]を選びます。

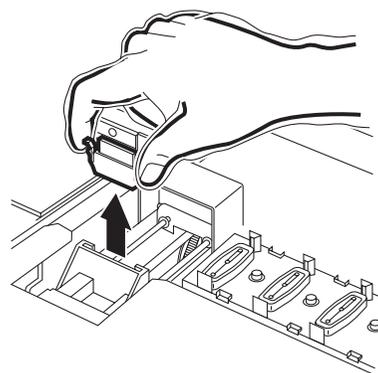
▲
▼
ステーション メンテ
メンテ :ホカン センジョウ

3. 【ENTER】キーを押します。
ヘッドがプラテン上に移動します。

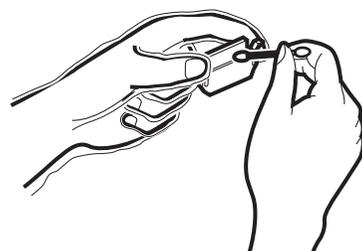
ENTER
ワイパー クリーニング
シュウリョウ ent

4. フロントカバーを開けます。

5. ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



6. ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。

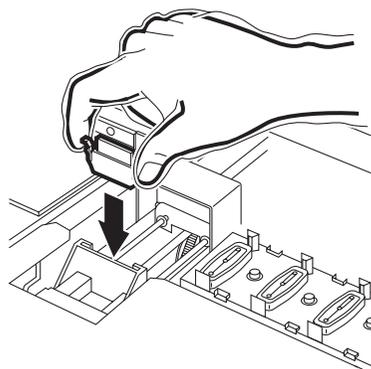


- 汚れ、曲がりが多い場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。

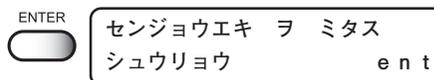
5

メンテナンス機能

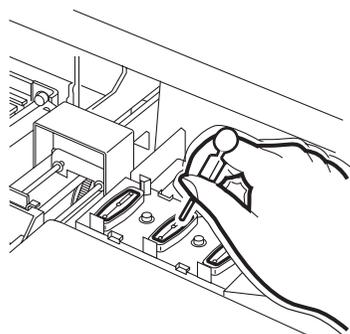
7. 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。



8. 【ENTER】 キーを押します。



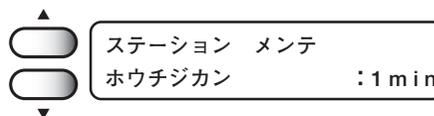
9. スポイトでメンテナンス洗淨液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。



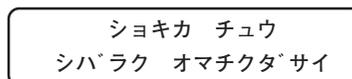
10. フロントカバーを閉め、【ENTER】 キーを押します。



11. ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。(1～99分：1分単位)
通常は「1分」に設定します。



12. 【ENTER】 キーを押します。
ノズルの洗淨を実行します。

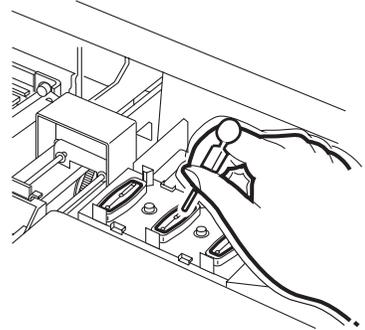


ノズルの洗淨が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

13. フロントカバーを開けます。

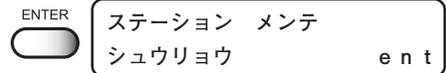
14. スポイトでメンテナンス洗淨液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

空吸引動作は断続的に行っているため、数回この作業を繰り返し、インクの排路をクリーニングします。すべてのキャップに対して行います。



15. フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

ヘッドがステーションに戻り、ローカルモードになります。



<ローカル>

双方向作図時の調整について[ドットイチホセイ]

双方向作図は、ヘッドが左右に移動しながら高速で作図します。☞ P.4-7

ここでは、往路と復路のインク落下点の位置を補正します。

4種類のテストパターンをプリントし、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して補正します。

操作手順

1. [ドットイチホセイ]を選択します。

メンテナンス
ドットイチホセイ < ent >

2. 【ENTER】 キーを押します。

4種類のテストパターンを印刷します。

出力した4パターンは、印刷した順にパターン1から4と呼びます。

ENTER
メンテナンス
サクズカイシ : ent

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、パターン1のドット位置補正の値を入力します。

▲
▼
メンテナンス
パターン1 = 4. 0

パターン1の適正なドット位置をジョグキーで選択します。

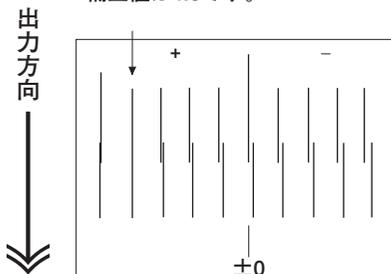
テストパターンの往路と復路が、1本の直線になっている位置を選択します。

0からプラス方向に4本目が直線
で表示しています。この場合の
補正値は4.0です。



注意

★ 直線のパターンの補正値が -40 ~ +40
の中にある場合は、ヘッドの高さを調整してから、再度ドット位置補正を実行してください。



(中央の長い線の位置が0を示します)

4. 補正値入力後、【ENTER】 キーを押します。

ENTER

双方向作図時の調整について[ドット位置]

5. 手順3の操作を再実行し、続けてパターン2から4のドット位置を補正します。

メンテナンス
パターン 2 = 0. 0

各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン4までドット位置補正值を入力し、ドット位置補正を終了します。

メンテナンス
パターン 3 = 0. 0

メンテナンス
パターン 4 = 0. 0

6. 【END】キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



<ローカル>
ハバ : 6 1 0 mm

ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (P.2-6) をしてもノズル詰まりが改善しない場合、以下の2機能を実行します。

インクジュウテン : インクを充填します。

センジョウ : 専用の洗浄液 (別売) でヘッド、チューブ、ダンパ内を洗浄します。

インクを充填する[インクジュウテン]

1. [インクジュウテン]を選択します。

メンテナンス
インクジュウテン < ent >

2. [ENTER] キーを押します。



インクジュウテン
センタク : KCMY

3. ジョグキー [▲] [▼] を押して、インクを充填するヘッドを選びます。



インクジュウテン
センタク : KC--

KCMY : 全てのヘッドにインク充填する

KC-- : KとCのみインク充填する

--MY : MとYのみインク充填する

4. [ENTER] キーを押します。

自動的にインク充填を開始します。

ENTER



ジュウテンチュウ
*****-----

インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。

メンテナンス
インクジュウテン < ent >

5. [END] キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。

END



<ローカル>
ハバ : 610 mm

専用洗浄液で洗浄する[ヘッドセンジョウ]



- 洗浄液カートリッジ(SPC-0259)は、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。

1. [ヘッドセンジョウ]を選択します。

メンテナンス
ヘッドセンジョウ < ent >

2. [ENTER] キーを押します。

ENTER



センジョウ
カートリッジラハズ

ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合

3. インクカートリッジを外します。
 充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

4. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを
 セットします。
 洗浄液を吸引します。

センジョウ
 センジョウジグヲセット

5. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外
 します。
 空吸引します。

センジョウ
 センジョウジグヲハズス

6. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを
 セットします。
 洗浄液を吸引します。

センジョウ
 センジョウジグヲセット

7. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外
 します。
 吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

センジョウ
 センジョウジグヲハズス

全行程が終了すると、右の表示になります。

メンテナンス
 ヘッドセンジョウ < ent >

8. 【END】キーを2回押すと、インク充填モード
 に戻ります。

END
 インクタイプ
 TPig - 4 color

9. ジョグキー【▲】【▼】を押して、充填するイン
 クタイプを選択します。

▲
 ▼
 インクタイプ
 Reac - 4 color

[TPig-4Color]: 捺染顔料インク

[Reac-4Color]: 反応染料インク

[Sub-4Color]: 昇華転写インク

[TPig4+Sub4]: 2way モード (☞ P.5-23)

10. 【ENTER】キーを押します。
 インクを充填します。

ENTER
 カートリッジヲ
 セットシテクダサイ

設定条件を印刷する[リスト]

本装置の設定状態を出力します。メンテナンスの参考にしてください。

1. ファンクション機能の設定[セッテイ]に関する情報
2. メンテナンス機能のドット位置補正[ドットイチホセイ]情報
3. 各インクカートリッジの交換回数
4. 本装置で使用中のファームウェアのバージョン情報
5. 保守（サービスマン用）に必要な各設定値

```

LIST (System Ver1.00) (1/F Ver1.40) S/N : 00000000
(1) セッテイ          ギャフ*1      < ギャフ*2 >          ギャフ*3          ギャフ*4
メテ`ィア `ホセイ      0      : `ホセイ      100      : `ホセイ      0      : `ホセイ      0      : `ホセイ
ヒ`-ター フ`リ`ン`ト OFF : `ホセイ      200      : `ホセイ      OFF      : `ホセイ      OFF      : `ホセイ
          フ`リ`ン`ト OFF : `ホセイ      20      : `ホセイ      OFF      : `ホセイ      OFF      : `ホセイ
          `C`ノ`F `C      `C      `C      `C      `C
          スタ`ン`ロ`イ 0min      10min      0min      0min
          OFF      0min      30min      0min      0min
          `ホセイ      ヒョウ`ユン : `ノ`ズ#      `ノ`イ      : `ノ`ズ#      ヒョウ`ユン : `ホセイ      ヒョウ`ユン : `ホセイ
          `ホセイ      タツ`キ`コウ      タツ`キ`コウ      タツ`キ`コウ      タツ`キ`コウ
          ロ`ジ`カル`シ`ク ON      ON      ON      ON
          `ホセイ      1      : `ホセイ      1      : `ホセイ      1      : `ホセイ      1
          カ`ン`ソウ` シ`カン 0.0s 0s : `ホセイ      0.0s 0s : `ホセイ      0.0s 0s : `ホセイ      0.0s 0s : `ホセイ
          オ`-ット カ`ット OFF : `ホセイ      OFF      : `ホセイ      OFF      : `ホセイ      OFF      : `ホセイ
          マ`-シ`ン `ミ`キ` 0mm      0mm      0mm      0mm
          `ヒ`タ`リ 0mm      0mm      0mm      0mm
          カ`ラ`-`ホ``ター`ン OFF      ON      OFF      OFF
          リ`ア`レ`ッ`シュ `レ``#3 : `ホセイ      `レ``#3 : `ホセイ      `レ``#3 : `ホセイ      `レ``#3 : `ホセイ
          メ`テ`ィア` ク`ン`シ`ュ`ク `レ``ト      `レ``ト      `レ``ト      `レ``ト
          キョウ`テ`キ`ク `ヒョウ`ユン      `ヒョウ`ユン      `ヒョウ`ユン      `ヒョウ`ユン
          `ミ`リ`イ`チ`チ `ミ`リ      `ミ`リ      `ミ`リ      `ミ`リ
          スタ`ン`プ` `モ`-`ト` OFF      ON      OFF      OFF
          `タイ`ム OFF      ON      OFF      OFF
          オ`-`ト`ク`リ`-`ン`ク` OFF      OFF      OFF      OFF
(2) `ウ`イ`ロ``レ``#` 1/1
(3) `ノ`イ`キ` `ファン` OFF
(4) DISPLAY Japanese
(5) ト`-`ネ`ッ`ト` イ`チ` `ホセイ      `ノ``ター`ン`1      `ノ``ター`ン`2      `ノ``ター`ン`3      `ノ``ター`ン`4
          0.0      0.0      0.0      0.0
          `ノ``ター`ン`5      `ノ``ター`ン`6      `ノ``ター`ン`7
          0.0      0.0      0.0
(6) ラ`ン`ク` `メ`-`タ`-`
          カ`-`ト`リ`ッ`ジ` 1: 87      2: 53      3: 42      4: 65      5: 58      6: 29
          シ`ン`リ`ョウ` 1: 66%      2: 67%      3: 83%      4: 100%      5: 65%      6: 65%
          ショ`ッ`ト` カ`ウ`ン` 1: 1883      2: 1272      3: 1426
          4: 1351      5: 1909      6: 1806
          ス`キ`ト`ン` カ`イ`ス`ク      1      (x1000)
          サ`ク`ス` `メ`ン`セ`キ` 5m2      53sq.ft.
          ショ`ウ` シ`ン`カン` 31h
          ス`リ`-`プ` `リ`ア`レ``シュ` 0      0h9m
Date : 02.10.04 23:36
    
```

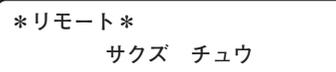
操作方法

1. [リスト]を選択します。



2. [ENTER] キーを押します。

自動的に印刷を開始します。



HEX コードで印刷する[デ-ﾀﾝﾌﾟ]

コマンドエラーやパラメーターエラー (P.6-8) が発生した際に使用します。
コンピュータから受信したデータコマンドを、HEX コードで出力します。
HEX コードとは、作図コマンドを英数コードで表記した物です。

出力したデータをお近くの弊社営業所まで郵送、または FAX でお送りください。出力結果を見て、データコマンドに異常がないかを確認します。

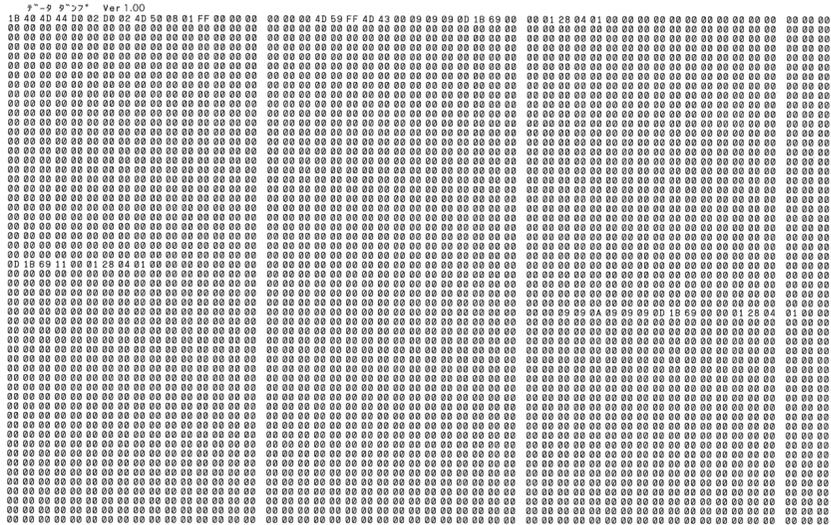
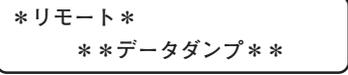
操作方法

1. [データダンプ]を選択します。



2. 【ENTER】キーを押します。

自動的に印刷を開始します。



ワイパ寿命の警告表示[ワイパレベル]

ワイパは消耗品です。

ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパではクリーニング効果が得られません。

環境により、ワイパ交換時期の警告を標準より早期に促します。

1/1 : 標準のワイピング回数でワイパ交換の警告を表示します。(初期値)

1/2 : 標準の 1/2 回でワイパ交換の警告を表示します。

1/3 : 標準の 1/3 回でワイパ交換の警告を表示します。

1/4 : 標準の 1/4 回でワイパ交換の警告を表示します。

(ホコリが多い場所では 1/4 に設定します。)

操作方法

1. [ワイパレベル]を選択します。

メンテナンス ワイパレベル	< ent >
------------------	---------

2. 【ENTER】キーを押します。

ジュウテンチュウ ワイパレベル	: 1 / 1
--------------------	---------

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、ワイパ交換の警告表示レベルを選択します。

ジュウテンチュウ ワイパレベル	: 1 / 3
--------------------	---------

異なる種類のインクを装填する[インクコウカン]

本装置は、現在使用中のインクと異なるタイプのインクを装填できます。
インクステーションにセットしてあるインクタイプと同じインクを使用する場合は、インク交換機能[インクコウカン]を実行する必要はありません。



- ★ インクカートリッジは、ミマキ純正のインクカートリッジをご使用ください。純正以外のインクカートリッジまたはインクを使用してトラブルが発生した場合は、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ★ インク種類を変更する際は、あらかじめ別売りの洗浄液カートリッジ（水系インク用）を購入してください。
- ★ インクを交換する前に、廃インクタンクを空にしてください。また、ワイパとキャップのクリーニングを行ってください。

操作手順

1. [インクコウカン]を選択します。

メンテナンス
インクコウカン < ent >

2. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
メンテナンス
TPig - 4Color

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、交換するインクタイプを選択します。

▲
▼
メンテナンス
Sub - 4Color

[TPig-4Color]: 捺染顔料インク

[Reac-4Color]: 反応染料インク

[Sub-4Color]: 昇華転写インク

[TPig4+Sub4]: 2way モード (👉 P.5-23)

4. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
センジョウ
カートリッジ ハズス



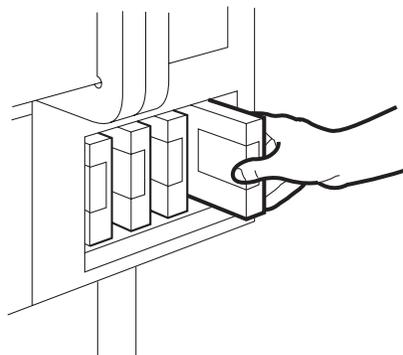
- ★ 現在使用中のインクタイプを選択した場合は、インク交換動作は行われません。



センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ

5. インクカートリッジを引き抜きます。

充填されていたインクを排出します。



6. 洗浄液カートリッジを差し込みます。
手順5で抜いたインクの位置に、洗浄液カートリッジを装填します。
自動的に洗浄を開始します。

センジョウ
センジョウジグヲセット



センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ

7. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを引き抜きます。
洗浄液を排出します。

センジョウ
カートリッジ ハズス

8. 再度、手順6,7を行います。

9. 手順3で選択したインクタイプのインクカートリッジを差し込みます。
インク充填が始まります。

カートリッジ ヲ
セットシテクダサイ

インク充填が終了すると、ローカルモードになります。

ジュウテンチュウ
シバラクオマチクダサイ



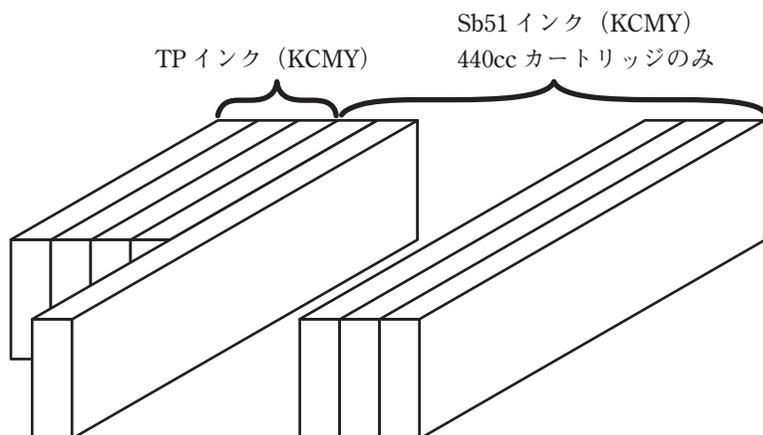
<ローカル>
ハバ^o : 610 mm

2種類のインクを同時に充填する (2way 機能)

異なるタイプのインクを2種類セットしておく、違うタイプのインクを使用して作図する場合に、使用するインクタイプを選択することでインクカートリッジの交換無しで作図できます。

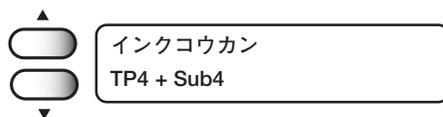


★ GP-604の2Way機能は左側TPインク (捺染顔料)、右側Sb51インク (昇華転写) の組み合わせのみです。

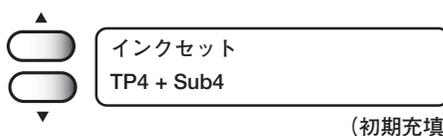


操作方法

1. 初期充填またはインク交換メニューで、ジョグキー【▲】【▼】を押して、[TP4+Sub4] を選択します。

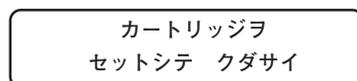


2. 【ENTER】キーを押します。

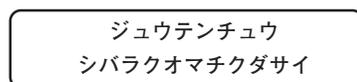


3. 左側からTPインクのK, C, M, Y、Sb51インクのK, C, M, Yの順にインクカートリッジを装着します。

(Sb51インクは440ccカートリッジのみ)



4. インク 充填が始まります。



時刻を設定する[ジコクセッテイ]

本装置はカレンダーを内蔵しています。ここで設定した日時が、セッテイ項目の[タイムスタンプ]機能に反映し、日付/時刻を表示します。☞ P.4-9

操作手順

1. [ジコクセッテイ]を選択します。

メンテナンス
ジコクセッテイ < ent >

2. 【ENTER】キーを押します。



メンテナンス
DATE = 2 0 0 3.0 8.0 8

3. 日付を設定します。

ジョグキー【◀▶】を押して、左右の桁を移動します。

ジョグキー【▲▼】を押して、値を変更します。

メンテナンス
DATE = 2 0 0 4.0 1.0 1

4. ジョグキー【▲▼】を押して、[TIME]を選びます。



メンテナンス
TIME = 1 6 : 2 0 : 0 7

5. 時刻を設定します。

ジョグキー【◀▶】を押して、左右の桁を移動します。

ジョグキー【▲▼】を押して、値を変更します。

メンテナンス
TIME = 1 2 : 0 0 : 0 0

6. 【ENTER】キーを押します。



7. 設定した日付を表示します。

ジョグキー【▲▼】を押すと、設定した時刻を表示します。

メンテナンス
DATE = 2 0 0 4.0 1.0 1

8. 【END】キーを3回押すと、ローカルモードに戻ります。

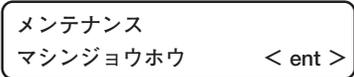


<ローカル>
ハバ° : 6 1 0 mm

本装置の情報を表示する[マシン]ヨウホウ

本装置の「ファームウェアバージョン/シリアル番号/ディーラー番号」を表示します。
トラブル発生時、付録の「お問い合わせシート」にこの情報とトラブル内容を記入して、販売店または弊社営業所までお送りください。

操作手順

1. [マシン]ジョウホウを選択します。

2. 【ENTER】キーを押します。


3. 再度、【ENTER】キーを押します。
ファームウェアバージョンを表示します。

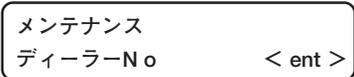

4. 【END】キーを押します。

5. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[シリアルNo.]を選びます。


6. 【ENTER】キーを押します。
本装置のシリアル番号を表示します。


7. 【END】キーを押します。

8. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ディーラーNo.]を選びます。


9. 【ENTER】キーを押すと、本装置のディーラー番号を表示します。


10. 【END】キーを3回押すと、ローカルモードに戻ります。



6章

困ったときは

6章では、本装置になんらかの異常が発生した場合や、エラーメッセージを表示した場合のトラブル解消方法について説明します。

本章の内容

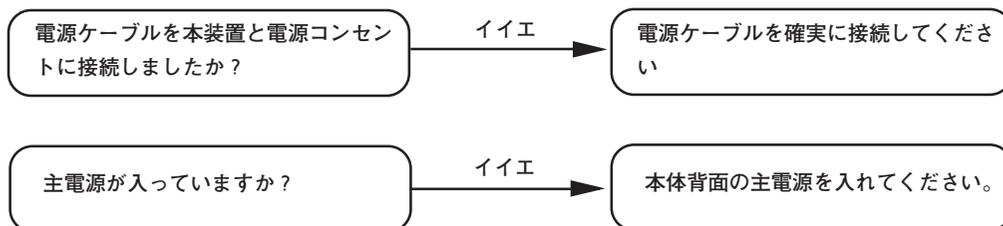
故障？と思う前に	6-2
画質不良が発生した場合は	6-4
カートリッジ異常が発生したら	6-5
メッセージを表示するトラブル	6-6

故障？と思う前に

エラーメッセージを表示しない場合のトラブルの対処方法について説明します。
故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

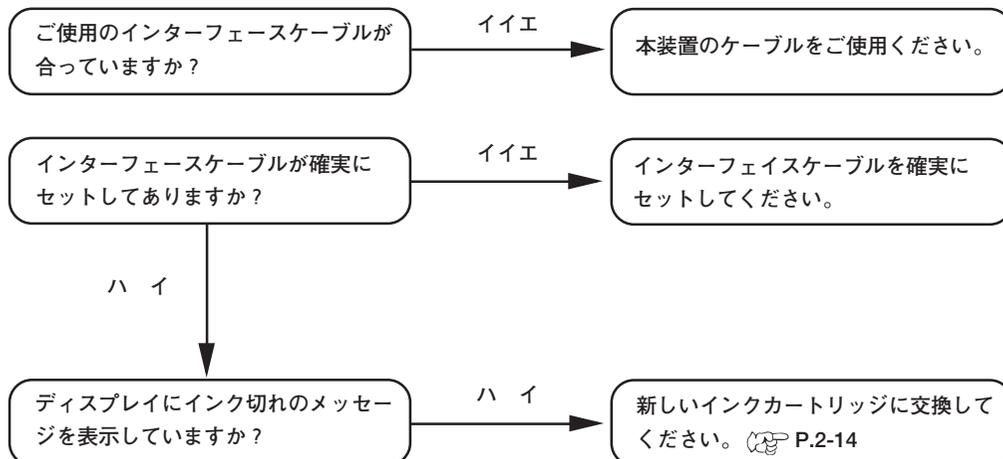
電源が入らない

電源が入らない原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。
接続が適正か、もう一度確認してください。



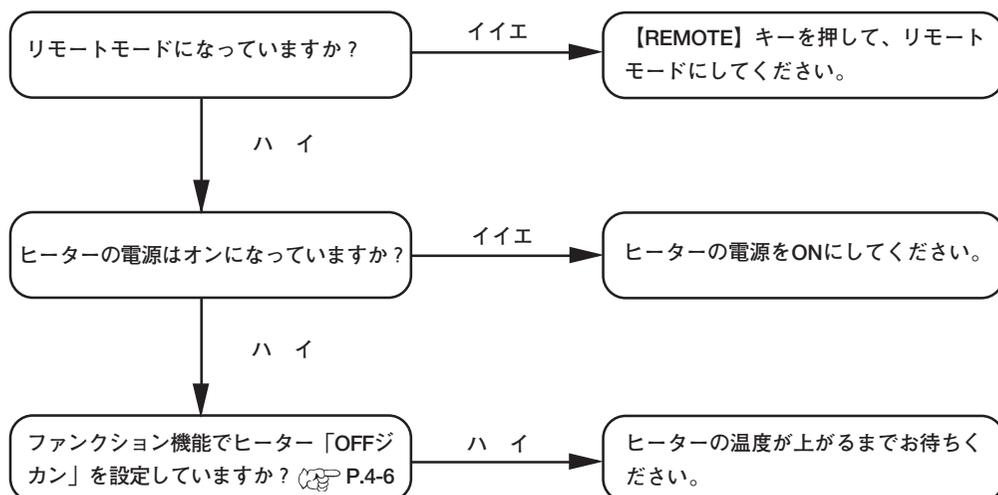
プリントできない

本装置にデータが適正に送られていない可能性があります。
また、ケーブルなどの接続に問題がある場合などが考えられます。



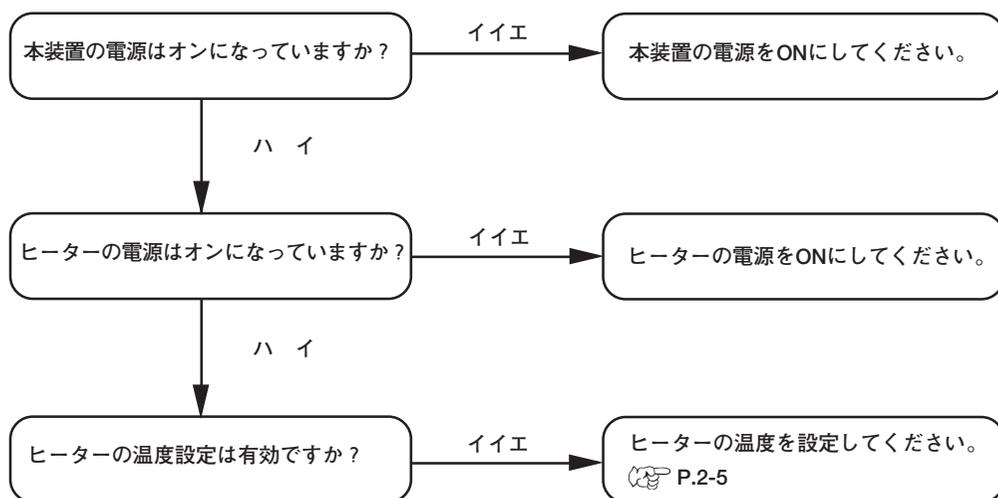
データ受信後、すぐにプリントできない

ヒーターの温度が下がっていると、設定温度まで温度を上げるのに時間がかかる場合などが考えられます。



[HEAT]ランプ、[CONSTANT]ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。



画質不良が発生した場合は

ここでは、作図品質に問題がある場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

白スジ／カスレ／色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）

- 対処方法
- ① ヘッドクリーニングをしてください。☞ P.2-6
 - ② ステーション内部のメンテナンスを行ってください。☞ P.3-4, 5-4

往復印字でズレが発生する

- 対処方法
- ① 「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.5-14

色ごとにインクが重ならない

- 対処方法
- ① 「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.5-14

プリント中にインク滴が落ちる

- 対処方法
- ① ワイパをクリーニングしてください。☞ P.3-4
 - ② インクキャップをクリーニングしてください。☞ P.3-4
 - ③ ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。☞ P.2-6

ビーディングが発生する

- 対処方法
- ① ヒーターの温度を下げてください。☞ P.2-5



ビーディングとは・・・

隣り合うドットが引きつきあって一つのドットになろうとするため、不規則な隙間あるいは濃度差が発生します。この結果、画質は低下します。

作図範囲外に汚れがつく

- 対処方法
- ① ヘッドの高さを調整してください。☞ P.2-10
毛羽だったメディアやシワのあるメディアは、【CYCLE START】キーで設定した後、更にヘッドの高さを数mm上げてください。☞ P.4-16

発色に違いが表れる

- 対処方法
- ① ロジカルシークの「ON/OFF」設定を同じにしてください。☞ P.4-7
 - ② プリントしてから後処理までの時間を一定にしてください。☞ P.2-13

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。
プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全て行えません。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

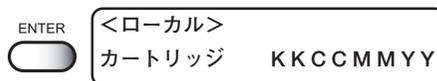


- ★ カートリッジ異常を表示したまま、長時間放置しないでください。
ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示し、異常の内容を確認できます。

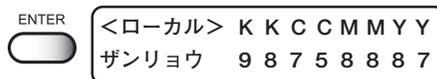
確認方法

1. ローカルモードの時に【ENTER】キーを押します。



2. 【ENTER】キーを押します。

- インクカートリッジに異常がなければ、ローカルモードに戻ります。



- 複数のカートリッジに異常が発生した場合、再度【ENTER】キーを押すと、異常内容を表示します。
【ENTER】キーを押し、すべてのカートリッジ異常の表示が終わると、ローカルモードに戻ります。



メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴り、ディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングエラー

主にインク関連に対して発生します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
<ローカル> カートリッジ KKCCMMYY	装着したインクカートリッジに問題があります。	【ENTER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。☞ P.6-5
<ローカル> ニアエンド KKCCMMYY	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	【REMOTE】キーを押すと、1ファイルごとプリントできます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
<ローカル> インクエンド KKCCMMYY	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示している色のインクカートリッジを交換してください。
<ローカル> インクキゲン KKCCMMYY	インクカートリッジの有効期限が切れています。あるいは、有効期限が切れかかっています。	【REMOTE】キーを押すと、プリントできます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
<ローカル> ワイパカウンシテクダサイ	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。	【REMOTE】キーを押すと、プリントできます。電源を入れる度にエラーを表示します。早めに新しいワイパと交換してください。☞ P.5-5
<ローカル> テストサクズシテクダサイ	放置時間が長い場合、ノズルの復旧が見込めません。	テスト印刷を行ってください。ノズル抜けがひどい場合は、メンテナンスの[ステーション] - [ノズルセリ]を実行してください。
ヒジュンセイ インク KKCCMMYY	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。	ミマキ純正品をお使いください。

メッセージを表示するトラブル

エラーメッセージ	原因	対処方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> インク IC イジョウ KKCCMMYY </div>	インクカートリッジのICチップが正常に読めませんでした。	表示している色のインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> インク シュルイ KKCCMMYY </div>	装填したインクカートリッジの種類が、前回装填した種類と異なります。	装填したインクカートリッジの種類を確認してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> インク カラー KKCCMMYY </div>	装填したインクカートリッジの色が、前回装填した色と異なります。	表示している色と装填したインクカートリッジの色を確認してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> カートリッジ イジョウ KKCCMMYY </div>	装填したインクカートリッジが異常です。	装填したインクカートリッジに異常があります。確認してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> カートリッジ ナシ KKCCMMYY </div>	インクカートリッジがインクステーションに取り付けてありません。	表示しているインクカートリッジをインクステーションに取り付けてください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> *リモート* !ヒーター タイプ * *.* </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <ローカル> !ヒーター ハバ:***mm </div>	ヒーターで異常が発生しています。	【END】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ヒーター ノ デンゲンガ ハイッテイマセン </div>	ヒーターの電源がOFFになっています。	ヒーターの電源をオンにしてください。再度表示するときは、サービスコールしてください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> Print ダンセン </div>	ヒーターが断線しています。	販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> Print サーミスタ </div>	ヒーターのサーミスタに異常があります。	

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。

エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。

それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 01 MAIN ROM	制御基板に異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 02 MAIN RAM		
ERROR 03 POWER +5V	制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V	
ERROR 04 フラッシュ ROM	制御基板に異常が発生しました。	
ERROR 06 D-RAM		
ERROR 07 ヘッド---*-----	ヘッドの接続に異常を検出しました。	
ERROR 08 リニアエンコーダ n	リニアエンコーダの検出で異常が発生しました。	
ERROR 09 HDCエラー	制御基板に異常が発生しました。 FPGA エラー HDC エラー	
ERROR 10 コマンドエラー	コマンドデータ以外のデータを受信しました。 本装置に適合していないインターフェースケーブルが使われています。	インターフェースケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェースケーブルを使用してください。
ERROR 11 パラメータエラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

メッセージを表示するトラブル

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 13 セツゾクRIP	本装置で接続できないRIPからデータを受信しました。	本装置で使用できるRIPからデータを送信してください。RIPについては、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 15 オフスケール	プリント範囲外のデータを受信しました。(X方向)	プリント範囲に収まるようにデータを送信してください。  P.4-10
ERROR 20 I/Fボード	I/Fボードと制御基板のインターフェースにエラーが発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 21 I/Fナシ	I/Fボードが制御基板に装着されていません。	
ERROR 23 ホストI/F	ホストコンピュータとI/Fボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 24 I/Fイニシャル	I/Fボードと制御基板の初期動作不良です。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 30 オペレーション エラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。	正しいオペレーションを行ってください。
ERROR 34 ミサクスデータアリ	受信済みで未プリントのデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしています。	受信済みのデータを全てプリントするか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
ERROR 40 モーターアラームX	Xモーターに過大な負荷がかかりました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 41 モーターアラームY	Yモーターに過大な負荷がかかりました。	

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 42 Xオーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 43 Yオーバーカレント	Yモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 46 ワイパ	ワイパの位置が適正ではありません。	
ERROR 51 Yゲンテン ケンシュツ	Y原点検出ができませんでした。	
ERROR 55 Xゲンテン ケンシュツ	X原点検出ができませんでした。	
ERROR 56 Zゲンテン ケンシュツ	Z原点検出ができませんでした。	
ERROR 71 ワーク タカイ	プリント時、またはジョグモード時、センサーがメディア（Tシャツ）を検出しました。ヘッドがメディアにこする可能性があります。	正しくメディア（Tシャツ）をセットしてください。またはヘッド高さを変更してください。(P.4-16)
ERROR 73 ワーク センサ	ワークセンサが、メディア（Tシャツ）を検出できませんでした。またはメディア（Tシャツ）のセットに問題があります。	正しくメディア（Tシャツ）をセットしてください。
ERROR 120 カンキョウ オンド ヒクイ	環境温度が、本装置の動作保証範囲外です。画質不良が発生する恐れがあります。	適切な環境温度にしてください。(20～35℃)
ERROR 120 カンキョウ オンド タカイ		

付録

各種仕様や構成、メニュー構造を示します。

本章の内容

本体仕様	付録-2
インク仕様	付録-3
設置場所について	付録-4
警告ラベルについて	付録-5
お問い合わせシート	付録-6
機能フローチャート	付録-7

本体仕様

項目		GP-604
作図ヘッド部	方式	ドロップオンデマンドピエゾヘッド
	仕様	4ヘッド インライン
	ノズル構成	2way 以外の場合、各色 360 ノズル 2way の場合、各色 180 ノズル
	作図分解能	360, 540, 720 dpi
作図モード	360 x 360 dpi : 1 * /2 /4 pass, 双方向 / 単方向 360 x 540 dpi : 3 /6 /12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 2 * /4 /8 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 2 * /4 /8 pass, 双方向 / 単方向 * : 2way 時は使用できません。	
使用可能インク	2way 以外の場合 専用捺染顔料インク 4 色 (K,C,M,Y 各 2 本) 専用反応染料インク 4 色 (K,C,M,Y 各 2 本) 専用昇華転写インク 4 色 (K,C,M,Y 各 2 本) 2way 以外の場合 専用捺染顔料インク 4 色 (K,C,M,Y 各 1 本) 専用 Sb51 インク 4 色 (K,C,M,Y 各 1 本)	
インク供給	インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり (IC 搭載あり) インクエンド検出機能あり インクカートリッジ交換方式	
インク容量	2way 以外の場合 各色 (220 cc ± 5 cc) 1 カートリッジあたり約 200 cc 使用可能 2way 以外の場合 捺染顔料インク各色 (220 cc ± 5 cc) 1 カートリッジあたり約 200 cc 使用可能 Sb51 インク各色 (440 cc ± 10 cc) 1 カートリッジあたり約 400 cc 使用可能	
最大作図範囲	幅 : 610 mm (360 x 360/540/720 dpi で高速モード作図時は、570 mm) 奥行 : 420 mm	
廃インクタンク	ボトル式 (1 リットル) 目視による交換時判断	
インターフェース	IEEE1394 準拠	
コマンド	MRL-II E (バリアブルドット対応) <ESC/PIハールベース ミマキオリジナルコマンド>	

項 目		GP-604
騒音	待機時	58 dB 以下(FAST-A, 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		UL, VCCI-classA, FCC ClassA, CEマ-キク*
電源仕様		AC100 ~ 240 V ± 10 % (オートボルテージ) 50/60 Hz ± 1 Hz
消費電力		980 VA 以下
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 35 °C
	相対湿度	35 ~ 65 %Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C
	温度勾配	± 10 °C/h 以下
	粉塵	一般事務所相当
重量		150 kg 以下
治具テーブル面高さ		約 400 mm
外形寸法		1660 mm (W) X 1070 mm (D) x 650 mm (H)

インク仕様

項目		仕様
形態		専用インクカートリッジ
種類		捺染顔料インク (SPC-0350 シリーズ) ※イエローのみ SPC-0435
		反応染料インク (SPC-0357 シリーズ)
		昇華転写インク (SPC-0370 シリーズ)
		Sb51 インク (SPC-0493 シリーズ)
インク容量		Sb51 インク以外、220cc/カートリッジ Sb51 インク、440cc/カートリッジ
有効期間		製造日より1年間 (常温) 開封から3カ月以内
保存温度	保存時	1℃～40℃ (40℃の場合1カ月以内)
	輸送時	1℃～60℃ (60℃の場合120時間以内、40℃の場合1カ月以内)



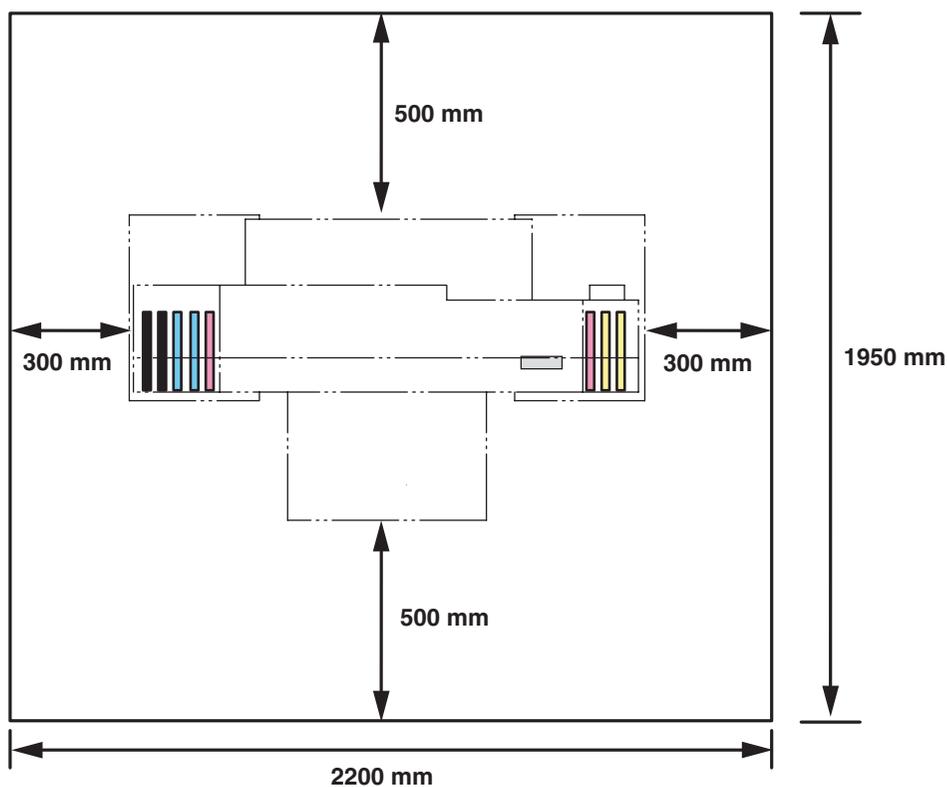
- ★ インクは寒い場所に長時間放置すると凍結する場合があります。
凍結した場合は、室温 (25℃) で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
- ★ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。

設置場所について

本装置を移設する場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
やむを得ず、本装置を移設する場合は、下記のスペースを確保してください。

本装置サイズ

横	縦	高さ	全体重量
1660 mm	1070 mm	650 mm	150kg 以下



- ★ 移動する際は、大きな振動を与えないください。
- ★ 安全のため、4人以上で運んでください。
- ★ 移動する際は、電源ケーブルを抜き、ヒーターの温度が十分下がってから移動してください。

警告ラベルについて

本装置には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または
弊社営業所にてお買い求めください。

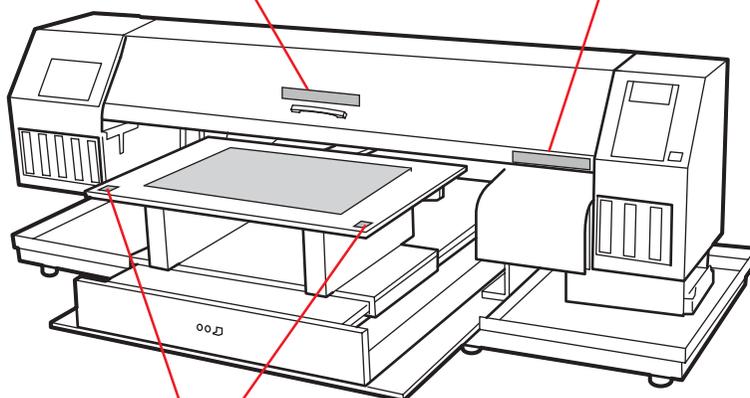
ラベルの位置

(注文番号：M903691)

⚠ 注意	⚠ 注意	⚠ CAUTION	⚠ ACHTUNG	⚠ ATTENTION
緊急情况下, 请打开前盖, 停止机器运转。	緊急時には、フロントカバーを開けて、機軸を停止してください。	In emergency, open the front cover to stop the machine.	Diese Abdeckung nach oben ziehen, um die Maschine anzuhalten.	Tirez ce couvercle vers le haut de façon que la machine s'arrête.

(注文番号：M901549)

⚠ 注意	⚠ 注意	⚠ CAUTION	⚠ ACHTUNG	⚠ ATTENTION
滾径移動時, 请勿将手指插入前面外盖的内部。	キャリッジ動作中は、フロントカバーの中に指を入れないでください。	-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area	-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone.



(注文番号：M903239)

お問い合わせシート

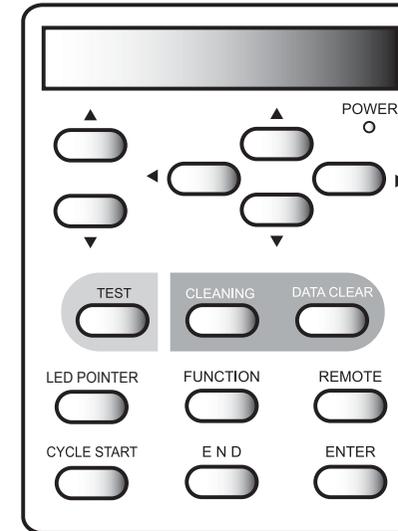
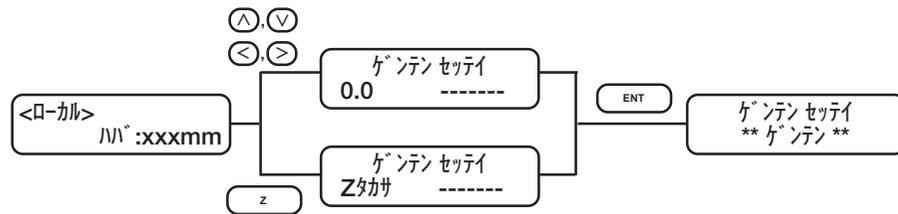
プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、巻末の弊社営業所までFAXでお送りください。

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
プリンター機種名	
お使いのOS	
マシーン情報*	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

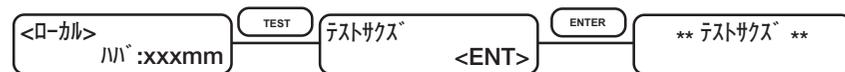
* [マシンジョウホウ]で表示した情報をご記入ください。☎ P.5-25

機能フローチャート

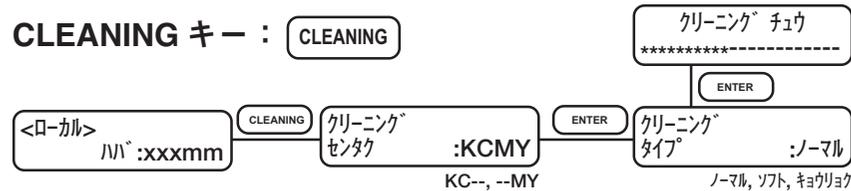
原点設定方法



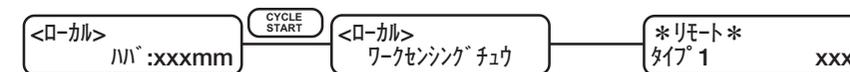
TEST キー : TEST



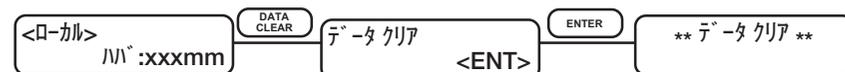
CLEANING キー : CLEANING



CYCLE START キー : CYCLE START



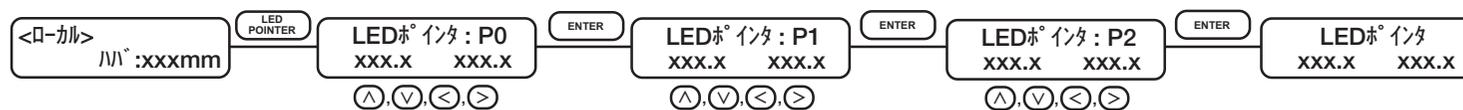
DATA CLEAR キー : DATA CLEAR



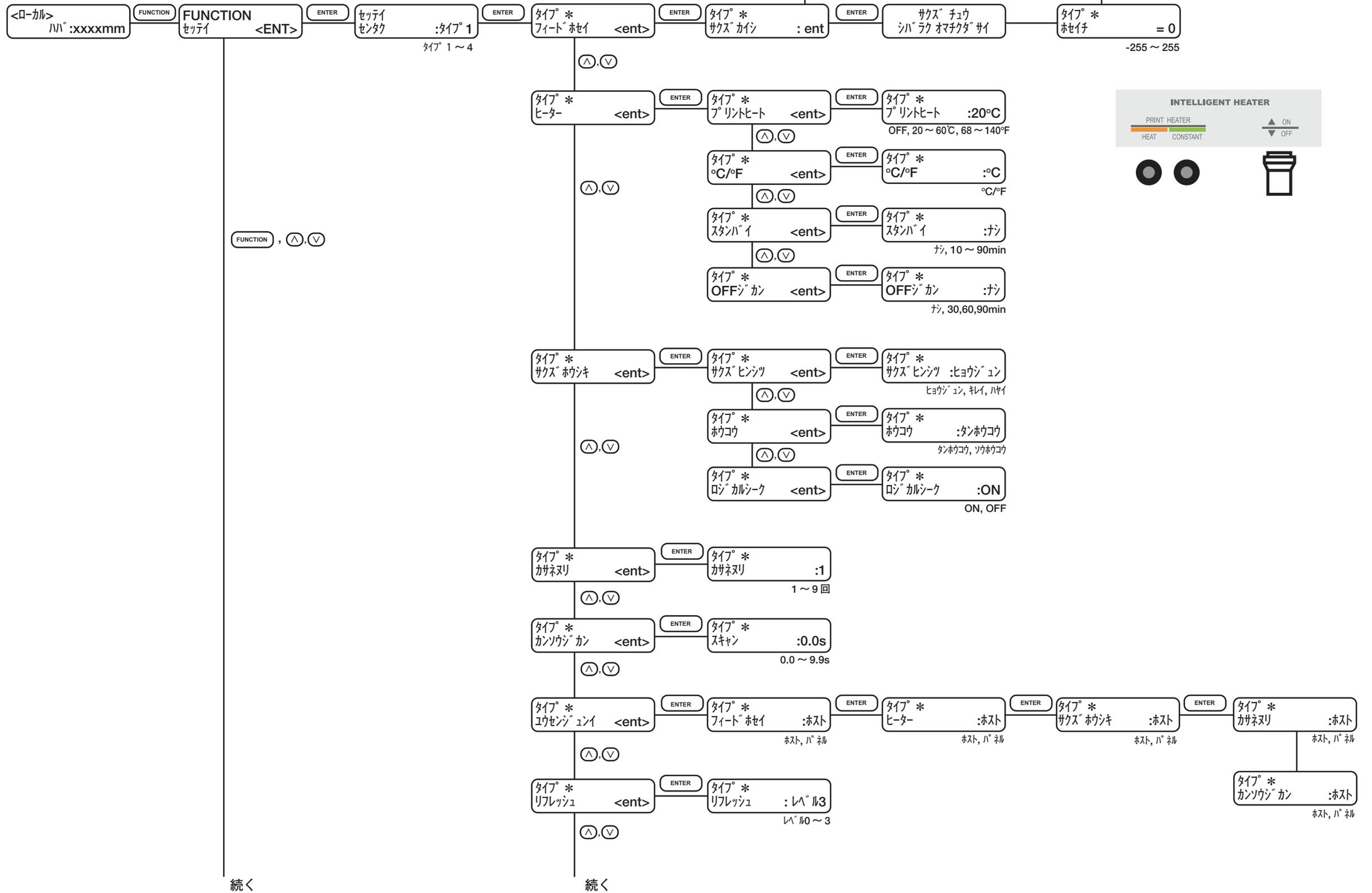
インク残量チェック : ENTER

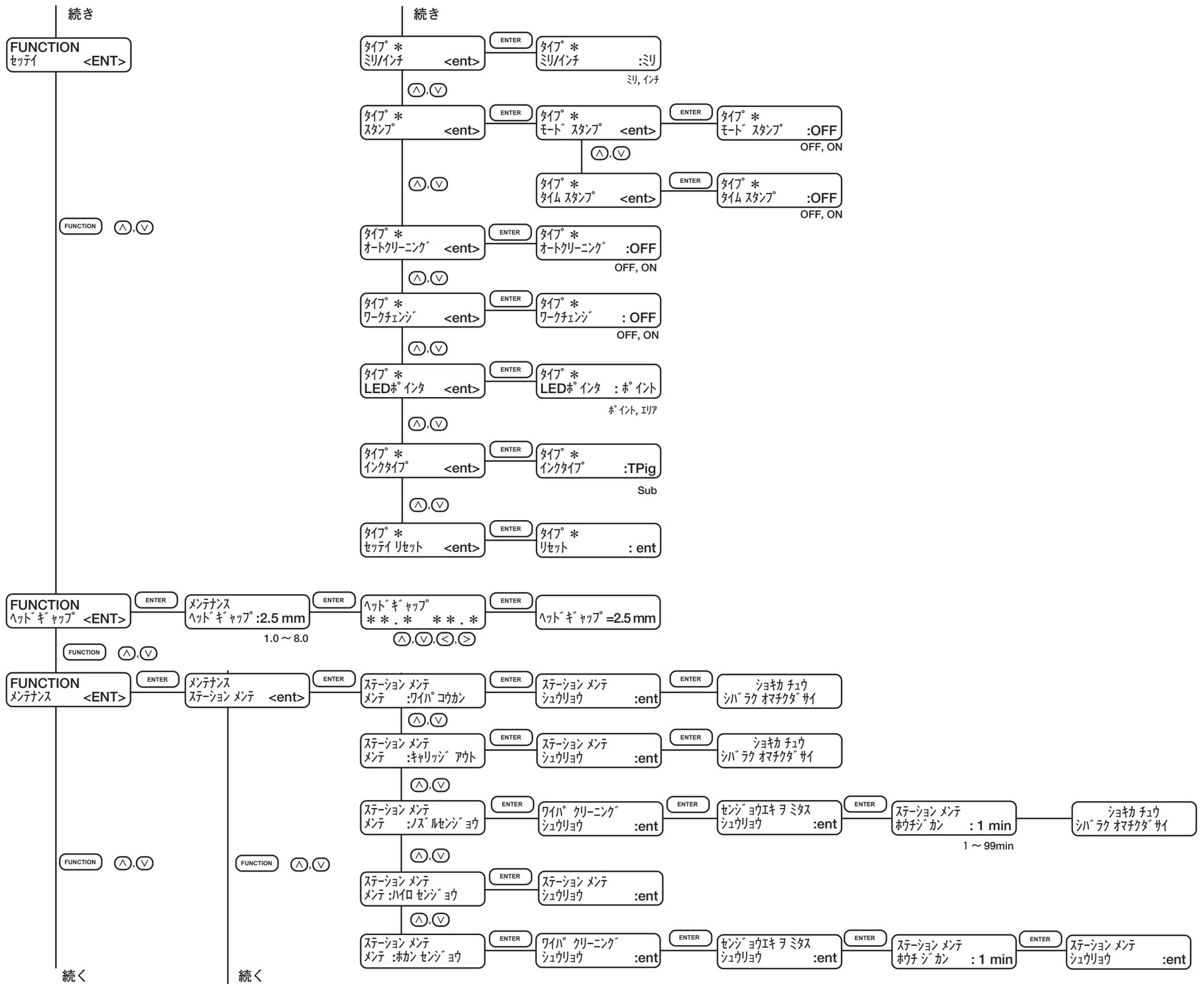


LED POINTER キー : LED POINTER

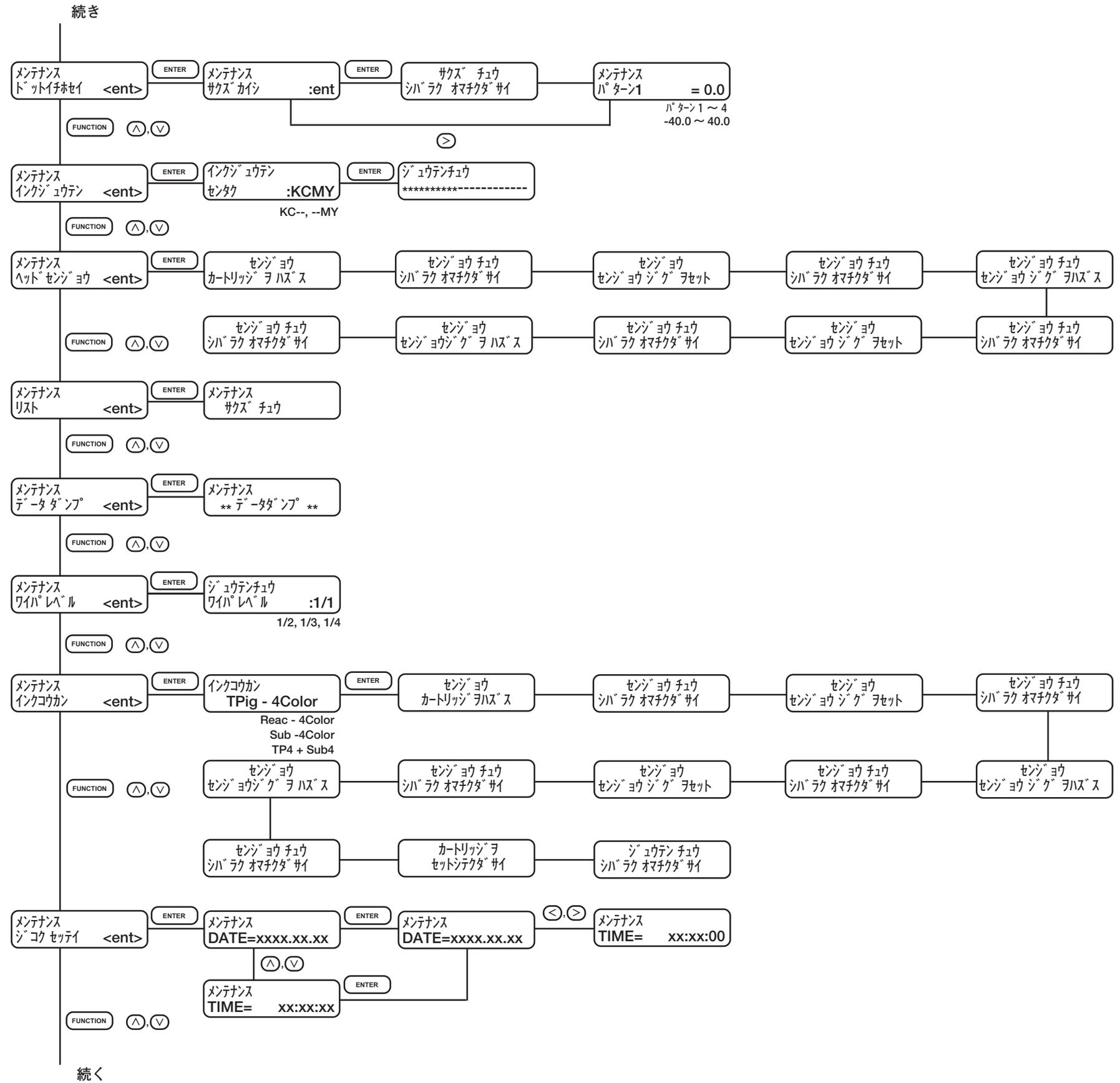


FUNCTION キー : FUNCTION



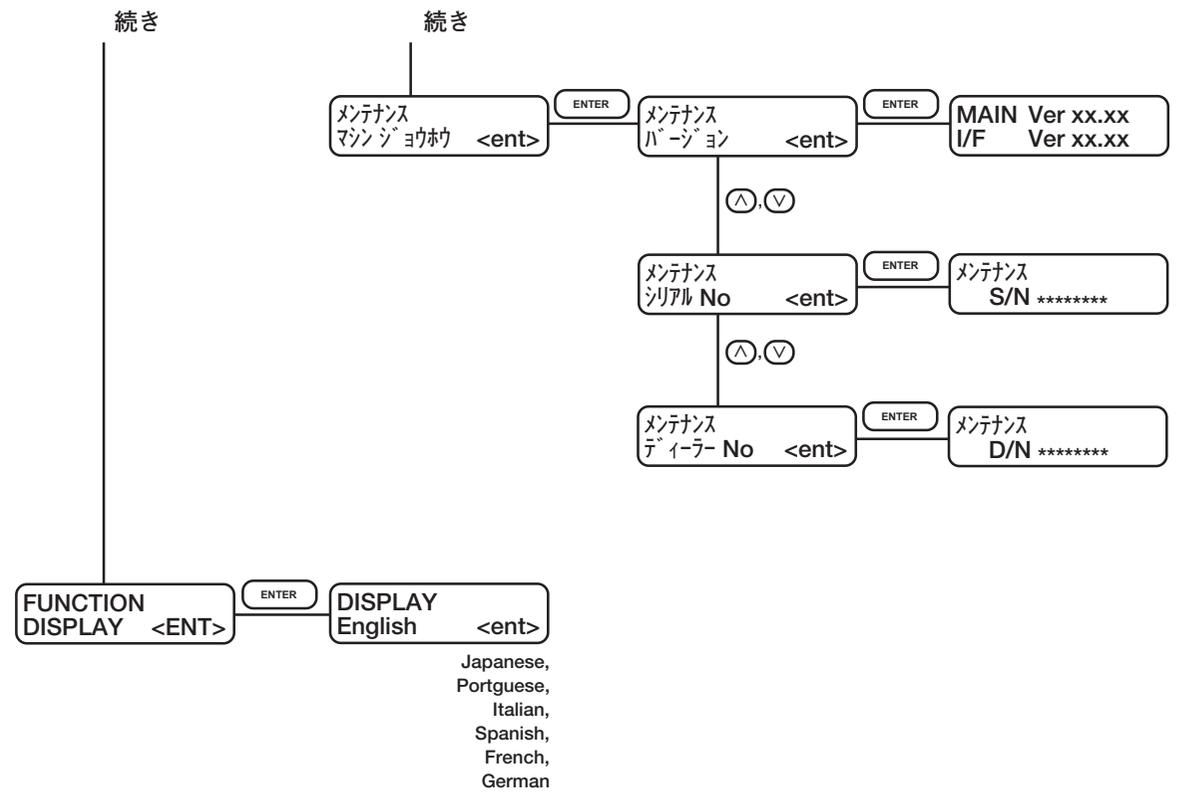


続き



続く

続く



索引

A		T	
AC インレット	1-3	TEST キー	1-4, 2-6
		T シャツプレート	2-9
C		Z	
CLEANING キー	1-4, 2-7	Z キー	1-4, 4-15
CONSTANT ランプ	1-6		
- が点灯しない	6-3	ア	
CYCLE START キー	2-10, 1-4	安全にお使いいただくために	v
D		イ	
DATA CLEAR キー	2-12, 1-4	色ごとにインクが重ならない	6-4
		色の濃いスジが発生する	6-4
E		インクエンド	2-14
END キー	1-4	インクキャップ	1-5
ENTER キー	1-4	インク残量が少なくなったら	2-15
[ERROR71 ワークタカイ]を表示したら	2-12	インク残量を確認する	2-15
		インク滴が落ちる	6-4
H		インクジュウテン	5-16
HEAT ランプ	1-6	インク仕様	付録-3
- が点灯しない	6-3	インクステーション	1-2, 1-8
HEX コード	5-19		
		エ	
I		エラーメッセージ	6-8
IEEE1284 コネクタ	1-3	オ	
IEEE1394 コネクタ	1-3	オートクリーニング	4-9
		お手入れ上のご注意	3-2
L		お問い合わせシート	付録-6
LED ポインタ	4-9		
		カ	
P		カサネヌリ	4-8
P2	4-12	画質不良が発生した場合は	6-4
POWER ランプ	1-4	カスレ	6-4
		カンソウジカン	4-8
R		乾燥時間	4-8
REMOTE キー	1-4		

キ	
機能フローチャート	付録-7
キャップのクリーニング	3-4
キャッピングステーション	1-5
キャリッジ	1-2, 1-5
キャリッジアウト	5-4
キョウリョク	2-7

ク	
クリーニング	2-7

ケ	
警告ラベル	付録-5
原点を設定する	4-14

コ	
ご注意	
使用上のご注意	ix

サ	
サクズホウシキ	4-6

シ	
ジコクセッテイ	5-24
受信障害	ii
主電源スイッチ	1-3, 2-3
ジョグキー	1-4
白スジが発生する	6-4

ス	
スタンプ	4-9
ステーション内の清掃	5-4
ステーションメンテ	5-4
ズレが発生する	6-4

セ	
設定機能一覧	4-5, 5-3
設定条件を印刷する	5-18

セッテイリセット	4-9
----------------	-----

ソ	
操作パネル	1-2, 1-4
ソウホウコウ	4-6
ソフト	2-7

タ	
タイプ	4-3
-を登録する	4-4
-を変更する	4-4
タンホウコウ	4-6

チ	
長期間使用しない場合	5-11, 5-13

テ	
データダンプ	5-19
テーブル	1-2
ディスプレイ	1-4
-の表示言語を変更する	4-19
電源が入らない	6-2
電源スイッチ	1-2, 2-3
電源をオフにする	2-16
電波障害自主規制	ii

ト	
ドットイチホセイ	5-14
ドット位置補正	
-往路	5-14
-復路	5-14
トラブル	6-6

ニ	
ニアエンド	2-14
日常のお手入れ	3-2

ノ	
ノーマル	2-7

ノズル詰まり 2-6, 2-7

ハ

廃インクが溜まったら 3-6
 廃インクタンク 1-2
 ハド センゾウ 5-9
 パネル 4-8

ヒ

ヒーター 1-6
 ヒーター電圧 1-7
 ヒーターの温度 2-5
 ヒーター用電源スイッチ 1-2, 1-6, 2-3
 表示言語 4-19

フ

ファンクションモード 1-9
 ファームウェアのバージョン ... 2-3, 5-18, 5-25
 ファンクションモード 4-3
 - の設定機能 4-4, 4-5
 プリントする 2-11
 プリント範囲 4-10
 プレスする 2-13
 フロントカバー 1-2, 2-4

ヘ

ヘッド 1-8
 ヘッドセンゾウ 5-16
 ヘッドの高さを変更する 4-15

ホ

ホド センゾウ 5-11, 5-13
 ホスト 4-8
 本書の構成 xv
 本体仕様 付録-2

マ

マーク表示について v

マシンジョウホウ 5-25

ミ

ミリ/インチ 4-8

メ

メッセージを表示するトラブル 6-6
 メニューの基本操作 4-2
 メンテナンス機能の導入 5-2
 メンテナンス用洗浄液 RS 5-9, 5-11

モ

モードについて 1-9

ユ

ユウセンジュンイ
 パネル 4-8
 ホスト 4-8

リ

リスト 5-18
 リセット 4-9
 リフレッシュ 4-8
 リモートモード 1-9

ロ

ローカルモード 1-9, 4-3

ワ

ワークチェンジ 4-9
 ワーニングエラー 6-6
 ワイパ 1-5
 ワイパコウカン 5-5
 ワイパ寿命の警告表示 5-20
 ワイパのクリーニング 3-4
 ワイパレベル 5-20

GP-604 取扱説明書

2008年5月

発 行 者 株式会社ミマキエンジニアリング
発 行 所 株式会社ミマキエンジニアリング

D200857-1.20-28052008



Printed in Japan

D200857-12

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 2008



SW: 1.7